

2022年



トンペイ 東北クラブ

成績結果

順位	チーム	試合数	勝点	勝	負	分	得点	失点	得失差	罰則減点
1	東北クラブ	18	46	15	2	1	59	19	40	
2	中新田SC	18	42	13	2	3	41	13	28	
3	パンブルピー白石	18	34	10	4	4	42	26	16	
4	AYASHI.FC	18	32	10	6	2	36	25	11	
5	ラソススポルチクルーピFC	17	24	8	9	0	39	36	3	
6	ソニーSC	18	23	6	7	5	29	30	-1	
7	KEMONO IN 楠木	18	18	5	10	3	31	32	-1	
8	六郷クラブ	18	14	4	12	2	25	53	-28	
9	登米SC	18	10	4	13	1	17	49	-32	
10	田尻FC	17	1	3	13	1	17	53	-36	

※不戦敗 罰則勝点-3

第46回 宮城県サッカーリーグ2部成績表

	ソニーサッカーカークラブ	東北クラブ	中新田サッカーライフ	登米サッカーライフ	六郷クラブ	田尻FC	KEMONO in楢木	ラソススポーツルチクルービFC	AYASHI FC	パンブルビー白石
ソニーサッカーカークラブ		0 - 1 ● 0 - 4 ●	0 - 4 ● 2 - 2 △	4 - 1 ○ 0 - 2 ●	3 - 1 ○ 1 - 1 △	2 - 0 ○ 2 - 0 ○	2 - 2 △ 3 - 1 ○	2 - 3 ● 1 - 2 ●	1 - 1 △ 1 - 2 ●	2 - 0 ○ 3 - 3 △
東北クラブ	1 - 0 ○ 4 - 0 ○		1 - 0 ○ 3 - 2 ○	5 - 0 ○ 3 - 1 ○	5 - 1 ○ 7 - 0 ○	4 - 1 ○ 5 - 0 ○	2 - 1 ○ 1 - 3 ●	4 - 1 ○ 4 - 2 ○	3 - 4 ● 4 - 1 ○	1 - 0 ○ 2 - 2 △
中新田サッカーライフ	4 - 0 ○ 2 - 2 △	0 - 1 ● 2 - 3 ●		2 - 1 ○ 0 - 0 △	3 - 0 ○ 4 - 1 ○	2 - 0 ○ 5 - 0 ○	1 - 0 ○ 5 - 2 ○	1 - 0 ○ 2 - 1 ○	2 - 0 ○ 2 - 0 ○	1 - 1 △ 3 - 1 ○
登米サッカーライフ	1 - 4 ● 2 - 0 ○	0 - 5 ● 1 - 3 ●	1 - 2 ● 0 - 0 △		0 - 5 ● 2 - 3 ●	2 - 1 ○ 1 - 4 ●	1 - 4 ● 2 - 0 ○	0 - # ● 2 - 0 ○	0 - 1 ● 0 - 2 ●	3 - 0 ○ 1 - 3 ●
六郷クラブ	1 - 3 ● 1 - 1 △	1 - 5 ● 0 - 7 ●	0 - 3 ● 1 - 4 ●	5 - 0 ○ 3 - 2 ○		3 - 5 ● 1 - 0 ○	2 - 0 ○ 1 - 1 △	2 - 4 ● 0 - 5 ●	1 - 3 ● 0 - 1 ●	1 - 5 ● 2 - 4 ●
田尻FC	0 - 2 ● 0 - 2 ●	1 - 4 ● 0 - 5 ●	0 - 2 ● 0 - 5 ●	1 - 2 ● 4 - 1 ○	5 - 3 ○ 0 - 1 ●		1 - 1 △ 0 - 6 ●	3 - 0 ○ -	0 - 6 ● 0 - 5 ●	2 - 3 ● 0 - 5 ●
KEMONO in楢木	2 - 2 △ 1 - 3 ●	1 - 2 ● 3 - 1 ○	0 - 1 ● 2 - 5 ●	4 - 1 ○ 0 - 2 ●	0 - 2 ● 1 - 1 △	1 - 1 △ 6 - 0 ○		1 - 2 ● 5 - 1 ○	2 - 0 ○ 1 - 3 ●	0 - 2 ● 1 - 3 ●
ラソススポーツルチクルービFC	3 - 2 ○ 2 - 1 ○	1 - 4 ● 2 - 4 ●	0 - 1 ● 1 - 2 ●	# - 0 ○ 2 - 0 ○	4 - 2 ○ 5 - 0 ○	0 - 3 ● -	2 - 1 ○ 1 - 5 ●		1 - 4 ● 3 - 1 ○	0 - 2 ● 2 - 4 ●
AYASHI FC	1 - 1 △ 2 - 1 ○	4 - 3 ○ 1 - 4 ●	0 - 2 ● 0 - 2 ●	1 - 0 ○ 2 - 0 ○	3 - 1 ○ 1 - 0 ○	6 - 0 ○ 5 - 0 ○	0 - 2 ● 3 - 1 ○	4 - 1 ○ 1 - 3 ●		1 - 1 △ 1 - 3 ●
パンブルビー白石	0 - 2 ● 3 - 3 △	0 - 1 ● 2 - 2 △	1 - 1 △ 1 - 3 ●	0 - 3 ● 3 - 1 ○	5 - 1 ○ 4 - 2 ○	3 - 2 ○ 5 - 0 ○	2 - 0 ○ 3 - 1 ○	2 - 0 ○ 4 - 2 ○	1 - 1 △ 3 - 1 ○	

日程一覧

4/10 宮城県リーグ第1節	12:00	○	5-1	六郷@アディダススポーツパーク(14:00主審・副審)
5/08 宮城県リーグ第2節	9:00	○	1-0	ソニー@松島総合(13:00主審・副審)
5/15 宮城県リーグ第3節	9:00	○	5-0	登米@めぐみ野C(13:00運営、13:00副審、15:00主審)
5/22 宮城県リーグ第4節	13:00	○	2-1	楢木@松島FBC2(9:00運営、9:00主審、11:00副審)
6/19 宮城県リーグ第5節	14:00	○	1-0	白石@松島FBC1(12:00主審・副審)
6/26 宮城県リーグ第6節	11:00	○	7-0	六郷@めぐみ野A(13:00副審)
7/03 宮城県リーグ第7節	15:00	○	4-1	田尻@めぐみ野C(9:00運営、11:00副審)
7/10 宮城県リーグ第8節	13:00	○	4-0	ソニー@鳥の海(9:00副審)
8/07 宮城県リーグ第9節	9:00	○	1-0	中新田@松島FBC1(13:00主審・副審)
8/28 宮城県リーグ第10節	13:00	○	4-1	ラソス@鳥の海(9:00主審・副審)
9/18 宮城県リーグ第11節	11:00	△	2-2	白石@鳥の海(15:00主審・副審)
10/02 宮城県リーグ第12節	15:00	●	3-4	アヤシ@めぐみ野C
10/16 宮城県リーグ第13節	9:00	●	1-3	楢木@めぐみ野C(13:00主審・副審)
10/23 宮城県リーグ第14節	10:00	○	3-2	中新田@めぐみ野C(12:00副審)
11/06 宮城県リーグ第16節	10:00	○	3-1	登米@東和総合(12:00主審)
11/20 宮城県リーグ第17節	11:00	○	4-2	ラソス@宮スタ補助(13:00副審)
11/27 宮城県リーグ第18節	11:00	○	不戦勝(5-0)	田尻@松島FBC2(9:00副審)
1/22 宮城県リーグ第15節	10:00	○	4-1	アヤシ@めぐみ野C(9:00運営、12:00副審)

■2022年4月10日（日曜日） 県リーグ第1節 六郷クラブ戦

試合開始 12:00 (40分ハーフ) 場所：アディダス・スポーツパーク

【結果】 5-1で勝ち

【得点者】 向川大成(1点目)、長浜慧昌(2点目)、佐々木道滉(3点目)

坂井響(4点目)、佐々木道滉(5点目)

【アシスト】

なし(1点目)

千葉陽太(2点目)

菅野隼也(3点目)

なし(4点目)

鈴木涼平(5点目)

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音⑧、佐々木道滉⑦、鈴木涼平⑨、向川大成⑥

M F : 菅野隼也⑫、佐藤博亮④

F W : 坂井響②、長浜慧昌⑤、千葉陽太⑩

【控え】 なし 【交代】 なし 【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、高橋裕幸

【主審】 中山太喜(14:00～)

【副審】 残間 諒(14:00～)

【評】

桜の開花宣言が出てからこの2日、暑いくらいの天気で桜の満開も秒読みという春らしい快晴となった。

県リーグは先週4/3が開幕だったが、我が「東北クラブ」は今日が開幕初戦となつた。相手は「六郷クラブ」、場所は「アディダス・スポーツパーク」だ。12:00キックオフなので、10:30集合であった。今年のチームは、諸事情で退会したメンバーが多数で、新メンバーは院生6名、紹介1名、昨年から継続6名の計13名が主力選手である。とにもかくにも試合ができるチーム状況にすることを第一として、勝負は二の次と心得ることにした。

試合前のマッチ・ミーティングでユニフォームの色合わせで白-白-白は相手チームの希望と合わず、緑-白-白の案が出たが監督の鈴木が自宅に忘れてきたことがわかり、取りに帰るという不手際があった。12:05に戻ったが、相手チームが昨年と同じように対応してくれて時間通りキックオフとなつたと聞いた。

12:00、キックオフ。初顔合わせのメンバーのチームなので、まずは立ち上がりの5分が大事だったが、無難に乗り切ることができたようだ。選手の動きを見ていると、どこかぎこちない。ボールがまだ足につかないようだし、芝にもすぐには馴染まないような感じがした。

相手は県リーグの常連チームで、考えなくともボールを蹴ればそこに人がいるパ



スワーク、そしてスピードも早い。これまで何度も対戦しているが、昨年の10月に久々に勝ったと言う程度である。それに対し、我チームは毎年殆どゼロからのチーム作りが常である。そして、ここ3年はコロナ禍で練習試合もままならず、体力づくりもこれからという状況で開幕となる。従って、最初の何試合かはまず怪我なくこなし、チームプレーを期待するのは夏場を越してからというのが例年のパターンである。

相手はいつものゲーム・メーカーを中心に左から右からパスワークでこちらのDFを崩しに来る。こちらが10人なので数的優位を作り出して得点する、というのが常道である。

前半20分、相手は左からパスを繋いで最後は個人技で突破して来た。ゴールエリア付近でDFが止めようとし転倒した。「ピー！」と主審の笛、ペナルティーをとられる。0-1。相手はこれで勢いづき、得意のパスワークで攻勢を強めてきた。こちらは初戦だし、10人だし、チームプレーは覚束ないし・・追加の失点は時間の問題と思われた。

しかし、DFは廣瀬を中心に決定的なチャンスは作らせない。GK田村も危険な芽を未然に摘み取り相手に追加の得点をさせなかった。

前半30分、相手コート右、センターサークル付近でボールを取った向川はペナルティエリア方向へドリブルした。相手は2人マークしていた。ペナルティエリア角を越した辺りで向川は左足で、来た方向とは逆の方向へ腰を回した。ボールはGKの頭上を越え、ゴール右サイドネット浅い所に収まった。GKは逆を取り一歩も動けなかった。DFもペナルティエリアまではついて行ったが、得点される危険性は低くなかったと判断して厳しく詰めなかったようだ。「う～む」と観衆を唸らせる技ありのゴールだった。1-1。

試合を振り出しに戻し、チームのムードが上がったことは言うまでもない。34分には佐々木が得意のドリブルで相手を翻弄しシュートまで行ったが惜しくもゴールには至らず。前半は1-1で折り返す。

後半に入る。

つい先日まで、寒かったのに急に暑くなったので、選手達の体力の消耗が心配された。しかし、これは相手チームも同じだったようで、少しずつ運動量が落ちていくのがわかった。そんな中、後半14分センターサークル付近から出した千葉のパスが長浜に通る。長浜はフリーで受けた。相手DF陣のオフサイド・トラップにはころびが生じたようで、長浜は慎重にゴールを決め2-1。

勝ち越したものの時間はまだ十分にあり、どうなるかはまだわからなかった。後半25分、佐々木がドリブルで軽快に中央突破する。最終DFも抜いて低弾道シュートを放つ。相手GKは好守でコーナーに逃げた。CKキッカーは菅野、遠くからは何気ないボールに見えたが、キャッチしようとしたGKの手はボールを見失ったかのように空を切った。そのボールは佐々木の前にパウンドした。パウンドの頂点を佐々木は間髪入れず強蹴した。ボールはゴールネット真ん中に突き刺さって3-1。

後半28分には、今日攻守に人一倍走り回っていた佐藤がチャンスと見て左から

ゴールに肉薄したが惜しくもゴールとはならなかった。

後半30分、相手がクリアしたボールを菅野が前線の坂井へ絶好のロビング・パス。坂井は出てくるGKとの間合いを本能的に左へ軽くかわし、浅い角度からのゴールを見事に決めた。4-1。

後半33分、中盤から鈴木(涼)のキラー・パスが出る。一本のパスで佐々木はGKと1対1になることができた。体を張って得点を阻もうとするGKをかわし無人のゴールへ、5-1。

終わってみれば圧勝と言える内容だった。10人という状況ではあったが、一人一人のスキルの高さ、グランドを大きく使い外から相手を崩すことが身についていること、果敢にチャンスを作りに行く気持ちの強さ、などなどが印象的だった。相手が我々に合わせてくれたのか退場者が出てことも勝敗に味方したようだ。初戦を飾ってくれた選手達に拍手を送りたい。あと3~4名選手が加入してくれたら、用事があっても安心して休めると思うのだが・・・。
【鈴木修平.記】

P.S 主審、副審を務めてくれた中山君、残間さんに感謝です。

■2022年5月8日（日曜日）県リーグ第2節 ソニーサッカーブラフ戦

試合開始 9:00 (40分ハーフ) 場所：松島運動公園

【結果】 1-0で勝ち

【得点者】 三富皓介(1点目)

【アシスト】 なし(1点目)

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

D F：廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、向川大成⑫

M F：菅野隼也⑥、佐藤博亮④、中村航太⑨、佐々木道滉⑪

F W：坂井響⑩、長浜慧昌⑦、千葉陽太⑧

【控え】 三富皓介③

【交代】 千葉陽太→三富皓介(後半6分)

【警告】 坂井響

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹

【主審】 溝口睦望(13:00~)

【副審】 吉田和朝(13:00~)

【評】

今年のゴールデンウィークは、3年ぶりにコロナの規制がなく、天気にも恵まれてどこも大賑わいのようであった。そのゴー

ルデンウィークの最終日、開幕戦から約1ヶ月ぶりの第2戦である。

相手はソニーサッカーブラフ、場所は松島運動公園だ。第一試合で9:00キックオフなので7:30集合であった。7:30集合ということは6時には起きなければならず、集まるか一択の不安はあったが、全員ほぼ時間通りに集合してくれた。メンバーは12名。先週、新しく加入してくれた三富君が来てくれたため、交代1名の余裕



ができた。

相手のソニーサッカーチームは昨年、会社の方針で全試合棄権せざるを得ず、不本意ながら降格したチームである。1部なので県リーグでは対戦しないが、全国クラブチーム選手権予選で過去2度対戦したことはあるが、勝ったことは無い。試合巧者でスピードもあり、攻めも上手く守りも固い、という印象であった。一方、こちらは新しいメンバーで第2戦目、人数もようやく11名が揃う状態なので、相手とはチーム事情では大きく水をあけられている、というのが正直な気持ちだった。

天候は連休中の晴天とは打って変わって「曇り」。それも寒いし、風が半端でないで余計に寒く感じられた。ここ松島運動公園にだけあるプラスチック扇型ベンチが強風で5mも動き、戻すのに4,5人がかりだったことを見ても如何に風が強かったか想像していただけると思う。

9:00キックオフ。相手は今年開幕戦で1試合こなしてるのはいえ、昨年1年間試合から遠ざかっているのでまだまだ試合の感覚が戻るまでには時間がかかるだろうと考えていた。更に、年齢的にはこちらが圧倒的に若いので最初から飛ばしては来ないだろうと思った。なので、まずは最初の5分に失点しないことが重要だった。

最初の5分は無事に経過した。相手は予想通り、最初から飛ばしては来なかつた。

8分、中盤からパスを回し、左からゴールを脅かす。最後は向川がシュートしたがDFに阻まれる。

9分、左から、佐藤、千葉とつなぎセンタリングしたが、DFに阻まれる。

14分、佐々木がDFからオーバーラップしてドリブル突破でゴールに迫るが叶わず。

18分、中央で佐藤、中村でゴールを狙うが相手に阻まれる。

時間が経過していくうち、対等に試合を運んでいることに気づいた。むしろ、こちらの方がボールの支配率が高いようにも感じた。

22分、センターサークル付近から、DFの裏へ走りこんだ千葉に縦パスが出たが、相手の判断が優った。

28分、坂井が中央でDFを引き付けておき、長浜ヘラストパス。長浜は左足でシュート、コースは良かったがほんの少しバーを越えた。

前半は0-0で折り返す。

FWが相手DFに自由に蹴らせないように精力的に動いていたのが目立った。

MFは臨機応変に攻撃に加わったり、守備に回ったり、うまく機能しているように見えた。

DFは今日はCBを鈴木(涼)が務め、両サイドを廣瀬と向川が押させて相手に決定的なチャンスを作らせなかつた。

後半に入り、開始早々1分、坂井が果敢にシュートまで行くが少し弱かった。

3分、長浜のシュート。

9分、佐々木が左から切れのいいドリブルでシュートまで行くがゴールは割れず。

12分、中盤で向川がボールをコントロールし菅野へ。菅野は右に走って来た<*1>にボールを出す。<*1>は右で相手DFを翻弄しセンタリング。ゴール前に2人

走りこんだがミートしなかった。

16分には左から、18分には右から、いい形でゴールを狙うが決まらなかった。

20分、坂井がミドルシュートで膠着状態を打開しようと試みる。

23分、相手のC Kを田村が好判断でキャッチ。飛び出すのが一瞬遅かつたら、どうなったかという場面だった。

24分、シュート、バーを超す。

27分、シュートまで行くもゴールを割れず。

37分、ゴール前で佐藤に絶好のチャンスが巡ってきたがシュートはゴールとならず。

後半に入っても、こちらの攻勢は変わらなかった。圧倒的に中盤を制していたように見えたが、相手のゴールを破ることができなかった。相手は流石に試合巧者である。中央から突破しようとしてもD FとG Kの連携で得点を許さない。外におびきよせて中を空けようとしても、中には要所にD Fがいてシュートを阻む。G Kも鉄壁と言って良いほど安定していた。

後半も残り2分を切り、優勢だったにもかかわらず引き分けに終わるのか・・と諦めムードがベンチに漂った。

もうこれでタイムアップかと思われた38分、相手G Kのゴールキックが珍しくそのまま左タッチラインを割った。スローインは廣瀬、それを佐々木、向川と横につなぐ。ボールは中央の菅野に渡る。菅野は縦にボールを出した。相手D Fに取られるかと思われたが三富が瞬発力でボールを奪取した。ボールはペナルティーエリア付近で右前に流れた。D Fが左右から寄せる。G Kも前に詰めてきた。スピードで優る三富は一瞬早くボールにタッチ、シュートした。次の瞬間、ボールは左サイドネットを揺らしていた。待望の1点だった。

その直後の39分に、抜ければ独走・シュートという相手のカウンター攻撃の場面があったが、廣瀬がファインプレーで消した。

三富の得点が決勝点となり、ソニーサッカークラブ戦としては、自分が監督になってから初めての勝ち星となった。 【鈴木修平.記】

P.S 主審、副審を務めてくれた溝口君、吉田さんありがとうございました。

■2022年5月15日（日曜日）県リーグ第3節 登米サッカークラブ戦

試合開始 9:00 (40分ハーフ) 場所：めぐみ野Cグランド

【結果】 5-0で勝ち

【得点者】

オウンゴール(1点目)、

中村航太(2点目)、

菅野隼也(3点目)、

佐々木道渉(4点目)、

梅田龍太郎(5点目)

【アシスト】



なし(1点目)、佐々木道滉(2点目)、佐々木道滉(3点目)、

なし(4点目)、佐々木道滉(5点目)

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、坂井響⑩

M F : 菅野隼也⑥、佐藤博亮④、向川大成③、長浜慧昌⑦

F W : 千葉陽太⑧、中村航太⑨、佐々木道滉⑪

【控え】梅田龍太郎⑫、吉迫大輝⑬

【交代】千葉陽太→梅田龍太郎、長浜慧昌→吉迫大輝(後半6分)

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、伊藤健太郎(1978卒)

【主審】溝口睦望(15:00~)

【副審】吉田和朝(13:00~)

【運営当番】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、伊藤健太郎、船橋富寿;

(12:00~16:50)

【評】

今日の会場は「めぐみ野C」グランドだ。これまで第1試合の運営当番チームが受付をするのが慣例だったが、会場の要請で最後の運営当番チームが受付をするようになった。これまで7:20頃には開門していたのでその時刻に到着したが、事務所が開いていなかった。待つこと約20分、管理人が到着して受付は使用時間(8:00)の15分前ということだった。これまでとは違う管理になったようである。

今日もキックオフは先週と同じ9:00。相手は登米サッカークラブ。毎年力をつけて強くなっているチームである。こちらのメンバーは新規加入もあり13名と久々に安心だった。それに対して相手チームは10人だった。

1人多いと数的に優位と思うのが自然である。しかし、プレーの局面・局面ではそれはあまり関係ないことが多い、1人少ないことを感じられないこともある。問題はスタミナ・体力である。初戦がそうであった。今日は立場が逆になった。

立ち上がり、5分、10分と経過するが、相手チームの士気は高く互角以上の試合をしていた。こちらはそのため攻めあぐねているという感じであった。

9分、佐々木が軽快にシュートまで行く。

10分、ナイスパスでゴールを狙うが相手の好守に無となる。

11分、中に入れるが紙一重で合わなかつた。

13分、再び左から中へ入れるが、意思疎通がもう一つだった。

吉田コーチから、「もうちょっと、少しだけで良いからボールを早く回せ！」と声がかかる。ボールを早く回すことで数的優位の効果が出る、ということだが、パスワーク・連携プレーができるチームでないとそれはできない。例年なら、連携プレーが思うようになるまで数試合、2~3ヶ月を要するのだが、今年のメンバーは皆一緒にプレーした仲で、既にチームプレー・連携プレーができていると言って良かった。

吉田コーチの声が届いたかどうかは定かでないが、徐々にゴールを予感させるような場面が増えていった。

17分、長いパスワークの最後に中村が佐々木にワン・ツーの勝負パスを出す。佐々木はシュートのタイミングを測りながらゴールラインぎりぎりでマイナスにボールを戻す。触ればゴールという場面で相手D Fは懸命にクリアした。難しいボールで触らなかつたら失点につながつたかも知れない。ファインプレーと言って良かった。ボールはゴールバーに当たったように見えたがよくわからなかつたが、副審のフラッグが上がり、主審が「ゴール！」と判定した。1-0。

21分、右から佐藤、長浜で切り込み中へ折り返すが合わなかつた。

22分、D Fから長いロービングがゴール前の佐藤に、狙ってヘディング・シュートするもG Kの手中に収まる。

31分、左から佐々木がタッチライン沿いを快速ドリブルで上る。相手D Fも良く守っているが佐々木はそれをモノともしなかつた。ゴールライン手前まで一気に到達し、中へ低く速いボールを入れる。中央に走り込んできたのは中村。右足のサイドで合わせる。ボールはゴール右サイドネットを揺らしていた。あれよあれよといふ間のこと、相手D FもG Kも必死に防御したが、ついていけなかつたようだ。

2-0。

32分、同じような場面が続く。佐々木のスピードは加速して相手を置き去りにする。左からの低く速いセンタリングに合わせたのは、今度は菅野だった。菅野はここに来ることを予想していたという。中村、菅野とともに一緒にプレーした仲ならではの感覚であろう。3-0。

守備をしていて嫌なことの一つは外へD Fが誘き出されることである。もし、抜かれて中央を低く速いボールが横切ると、合わせられたらまず防げない。強い相手にもこれは通じる。人数が1人少なければ尚更脅威となる。相手もそれは十分に知っていたであろうが防げなかつた。一方、こちらのD Fライン廣瀬、鈴木(涼)、坂井はそういう状況を殆ど作らせなかつたと言って良い。

後半に入る。

後半6分、今日デビューの梅田・吉迫が長浜・千葉と交代する。開幕して3戦目、皆まだまだ試合に体が慣れているとは言い難い。長浜も千葉もまだ走れたが、物足りない位で丁度良いと思って欲しい。相手に交代はいないので、徐々に体力を消耗するのではないかと思われた。

前半は坂井がD Fを務めた。メンバーの殆どが初対戦の相手なのでスピードを実感するまで少し時間がかかる。そういう場合に経験とスピードのある選手が守備に入り、万全を期す。その目的を果たし、後半はセンター・フォワードに戻る。

坂井は、後半12分、16分、23分と「どフリー」でG Kと1対1の場面があつたが得点を加えることができなかつた。パスを出す方も上手いが、そういう場面にいる坂井も凄い。本能的なものなのだろうが、これまでもそういう場面は多々あつた。現役時代は何も考えることなく相手D Fをものともせずシュートを決めていたであろうことは想像に難くない。しかし、社会人の県リーグになって何かの拍子で失敗

すると、以前のように無意識のプレーができなくなる。「考える」ことで動きが不自然・ぎこちなくなり、ドフリーのシュートも外してしまう・・・皆、経験してきたことである。シーズン後半にはまた勘が戻るであろうから、それまでは辛抱である。上手い先輩が失敗してくれると後輩は安心してのびのびプレーできるので、チームにとっては大きな貢献であると言えよう。

後半23分、佐々木がワンパスで独走となり、GKのキャッチの下を抜く強烈なシュートで4-0。

後半31分、今日、初出場の梅田が佐々木のアシストで初得点をあげた。グランドの状態が凸凹でボールが足につかず慣れるまで大分時間を要したようだが、今後は大丈夫であろう。

吉迫も初出場で、ポジションがDFなのでグランドの状態がマイナスに作用しなければと心配していたが杞憂に終わって良かった。

後半32分に今日はあまり出番の少ない田村だったが、相手が独走で右から中に低く速いボールを折り返す。詰めた相手FWが合わせれば1点の場面だったが、それを読んでインターチェンジしチャンスを消した。

後半35分、ペナルティーエリア外で鈴木(涼)が中村のプレースしたボールを強蹴。目にも止まらぬ低弾道シュートを放った。「おーっ！」とベンチから歓声が上がった程だ。次は是非決まって欲しいものである。 【鈴木修平.記】

P.S 主審、副審を務めてくれた溝口君、吉田さんありがとうございました。

運営当番をお手伝いしていただいた伊藤健太郎さん、船橋富寿さんありがとうございました。

伊藤健太郎さんの感想：まず、みんな若いことに驚いた(40~50代と思っていたらしい)。そして、皆上手なことに2度驚いた、との事でした。

■2022年5月22日（日曜日）県リーグ第4節 KEMONO in 棚木戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所：松島フットボールセンター2

【結果】 2-1で勝ち

【得点者】 三富皓介(1点目)

佐々木道滉(2点目)

【アシスト】 廣瀬海音(1点目)

菅野隼也(2点目)

【スタメン】

GK：田村祥太郎①

DF：廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、

向川大成③、佐々木道滉⑪

MF：菅野隼也⑥、長浜慧昌⑦、

中村航太⑨、三富皓介⑬

FW：千葉陽太⑧、坂井響⑩

【控え】 梅田龍太郎⑫、佐藤博亮④



【交 代】千葉陽太→梅田龍太郎、三富皓介→佐藤博亮(後半10分)

【警 告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、佐々木元樹

【主 審】中山太喜(9:00~)

【副 審】小川修一(11:00~)

【運営当番】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、佐々木元樹、小川修一
;(9:00~12:40)

【評】

松島フットボールセンターが試合会場の時は不思議に雨が多い。

ウィークディはずっと晴れだったので、今日は朝から雨だった。会場に着いた7:30は結構強い雨だったが、次第に弱くなり試合が始まる頃には止んでいた。

今日の相手は「KEMONO in 槻木」。11年来のお付き合いである。消防団員の方が多いと聞いている。不測の事態に備えて、常に体を鍛えておかなければならぬのでフィジカル的に極めて強い。毎回それを身に染みて感じてきた。一人一人のスキルも、チームプレーもパスワークも昔からレベルが高く、ずっとそれを維持している。その人達が全力で来るので今日も、楽な試合はさせてもらはず、ガチの試合になるだろうと覚悟していた。今回のメンバーの殆どが初めての対戦なので、言葉で話はしたが、実際に当たって体で知つて対応、という以外伝える術は無かつた。

13:00 キックオフ。相手は開始から持ち前のパワーとスピードで押してくる。

しかし、こちらも何ら遜色は無い。むしろ、ボールを奪取し、コントロールし、攻撃の起点を作るという流れはこちらが上のよう感じもする位であった。

12分、三富、佐々木、坂井とボールをつなぎ、坂井が左コーナー付近から中へ絶好のボールを入れる。中村が狙いすましてシュートするも、ゴールにはならず。

15分、D Fからのロビング・ボールを俊足で一瞬のうちに相手D Fを置き去りにした坂井がペナルティーエリア左角から強烈なシュートを放つもゴールは捉えられず。

相手もカウンター攻撃で何度かこちらのD Fラインを破って「これは・・・！」という危ない場面もあったが、それはベンチの感覚で、廣瀬、鈴木(涼)、佐々木、向川のD Fラインは1対1の勝負では殆ど相手を押さえ決定的な場面は作らせなかつた。

相手のプレーヤーがベンチの前をドリブルで疾走中、不自然な転び方をした。普通の転倒ではなかった。どうも肉離れのようであった。退場したがまた復帰されることをお祈りする次第である。

28分、菅野が奪取したボールから、右ハーフライン辺りで3人の連携プレーで相手D Fを崩し、右ゴールライン付近からセンタリング。中央で待っていた<*1>がシュートするもD Fがブロック、しかしボールは垂直に上がる。頭上に上がったボールを坂井がヘディング・シュートしたが相手D Fのファイン・プレーでゴールは消された。

29分、佐々木、三富、向川とつながったボールが再び佐々木に。佐々木はD Fを突破してペナルティーエリア外辺りから左足アウトサイドでゴール右上にシュートした。ボールは弧を描いてゴール右上隅に吸い込まれるように飛んで行った。普通なら入ったであろうコースだったが、相手G Kの素晴らしいセービングでコーナーに逃げられた。G Kのファインプレーであった。

30分、2本目のC Kでゴール前のシュートチャンスになったがゴールは奪えず。

31分、中村に再び得点のチャンスが巡ってきたが相手の好守に阻まれる。

40分、41分にも佐々木がチャンスを作ったが、ゴールにはならなかった。

攻撃は、中盤のボールを結構拾い、そこから攻撃の起点を作り、試合巧者の相手を上回っていたように見えた。しかし、最後の詰めは甘かったと言わざるを得ない。前半は0-0で折り返す。

後半に入り、開始早々1分、中村から三富へ、三富は左タッチライン沿いで前の佐々木へ。佐々木は相手D Fをあつという間に崩し、最後のD Fのスライディングも飛んでかわし、ゴールライン上をドリブルする。ゴール前を横切るボールで合わせれば得点という場面を作ったが、また相手G Kのファインプレーに阻まれる。

後半8分、今日攻撃に、守備に広範囲に活躍していた三富にゴール前のチャンスが巡って来る。右サイドからD F廣瀬がオーバーラップしてドリブルで相手D Fを次々と突破する。最後のD Fを抜いた後、中央に速く低いセンタリング、中で受けたのは三富。スライディングで飛びこんできた相手DFをかわして左足でシュート。ボールはゴールネット右に突き刺さった。シュートのタイミングは、「そこしか無い」というタイミングだったが、三富の体は自然にそう動いたようだ。均衡を破る貴重な1点に選手からもベンチからも大歓声が上がった。1-0。

後半16分、こちらのチャンスの後、ピンチを迎える。こちらの攻撃をカットしボールを奪うと、得意のカウンター攻撃が炸裂した。相手のチャンス・メーカーでテクニシャン⑪が右サイドでボールをもらうと、中のポイント・ゲッター⑫に。このパターンで何点も決めている⑬は期待通りに得点を決めた。1-1。これは相手を称えるべきであろう。

どんなに素晴らしいG K・D Fでも防げない得点がある。だから2点までは仕方ないと思っている。一方、どんなチームにも得点のチャンスはあるもので、それを決めて劣勢ながらも1-0などで勝てることもある。しかし、できれば常に3点以上は欲しいものである。できないことではない、と長年見てきてそう思う。

後半26分、C Kを得た。キッカーは菅野。速いボールがゴール前に飛んできた。ゴール前には3人がいた。一番前にいた相手D Fと佐々木がジャンプした。次の瞬間、「カン！」という音がしただけで、ベンチからはゴールしたのかどうかもわからなかつた。一瞬沈黙が続いたが、佐々木が手を挙げて引き揚げてきたのでようやくゴールとわかった。今日、何度も得点を阻んできた好守の相手G Kであったが、これには反応できなかつた。2-1。

貴重な勝ち越し点を守り切って、終了のホイッスルを聞くことができた。予想通り厳しい試合だったが、今年のメンバーは相手の力量を体で知ってすぐに対応でき

る力を持っているようでこれからが楽しみである。監督の選手交代のタイミングが足を引っ張った感は否めない。

【鈴木修平.記】

P.S 主審、副審を務めてくれた中山君、小川さんありがとうございました。
運営当番をお手伝いしていただいた佐々木元樹さんありがとうございました。

■2022年6月19日（日曜日）県リーグ第5節 バンブルビー白石戦

試合開始 14:00 (40分ハーフ) 場所：松島フットボールセンター1

【結果】 1 - 0 で勝ち

【得点者】 三富皓介

【アシスト】 なし

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、向川大成⑩、

吉迫大輝⑦、三富皓介⑩

M F : 菅野隼也⑥、中村航太⑯、

佐藤博亮③、古賀広見⑫

F W : 長浜慧昌⑦、佐々木道滉⑯

【控え】 なし

【交代】 なし

【警告】 三富皓介

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【主審】 吉田和朝(12:00～)

【副審】 残間 諒(12:00～)

【評】

前試合から約1ヶ月の間をおいて、今日の対戦相手は「バンブルビー白石」だ。バンブルビー白石とは2017年度に2度対戦して1勝1敗だった。その年は3月にこの松島フットボールセンター1で練習試合などしたこともあり少し面識があったので、試合前にメンバーの一人と話したら、その頃のメンバーはもういないとの事。こちらもスタッフ以外は同じ状況である事を考えれば「さもありなん」である。

場所は、松島フットボールセンター1。集合時間は12:30。その頃は晴れていたが、天気予報では14時頃に「雷・強雨」となっていた。

キックオフは14:00だったが、雷がゴロゴロ鳴っているので少し早く開始となつた。しかし、開始わずか1分、雷が大きくなり大粒の雨も降ってきたので「中断」となつた。待つこと約15分、ようやく空が明るくなったところで再開。佐々木のCKから再スタートした。

相手は、詰めが早く、しかも激しかった。ボールは雨に濡れていることもあり、お互いに中盤をどう制するかでしのぎを削っていた。そのため目まぐるしく攻防が入れ替わり落ち着かなかった。



16分、フリーキックを得る。キッカーは佐々木、コントロールされた速いボールはゴールを捉えたが、G Kにコーナーキックに逃げられゴールはならず。

21分、長浜が中央でミドル・シュートを放ったがG Kに阻まれる。

31分、ペナルティーエリアすぐ外でフリーキックを得る。キッカーは菅野、壁の間を狙ったが相手D Fに阻まれる。

33分、左から佐々木がゴールライン付近まで突破し中に入れる。ボールがゴール前を横切るが誰も合わせることができなかつた。

前半、松島フットボールセンター1のコートは広いはずなのに、なぜか狭く感じられた。

D Fが相手のボールを止め、攻撃に転じようとするが出すところが無い！という場面が多く見られた。ベンチから見ると、相手のD Fラインは浅く、出すとすれば、両サイドか相手C Bの裏しかない。相手C Bの裏は近すぎて出せない。結局、出すところは両サイドしかなく、相手はそこに力を集中して守ればまずは安心、という策に嵌っているように見えた。

吉田コーチと「相手G Kは小柄だけど良い守備をやってるよね」という話をしていた。しかし、実は相手D F3人は'がたい'が大きく、それで小さく見えたということが後半ベンチの前で見てわかった。相手D Fはがたいが大きいだけでなく、スピードもあり守りも堅かった。

相手チームは、例年であれば県リーグに昇格の予定ではなかつたが、諸事情が左右し異例の昇格となつた経緯もあり士気が高かつた。昇格後の戦績も良く、トンペイクラブに勝てば残留に大きく前進できるので試合前から並々ならぬものを感じていた。

前半終了の前、再び大粒の雨が叩きつけてきた。選手もあつという間にびしょ濡れ、風呂上り状態となつた。雨が止むと、今度はいきなり太陽が照り付けてきた。観客席の通路のコンクリートから湯気が立ち昇つてゐるのが見えた。

前半を0-0で折り返し、後半に入る。

後半、開始早々1分。中盤で佐々木にボールが渡る。D Fは1人、当然勝負の場面だ。ドリブルで期待通りに相手を抜き去り左足で強烈なシュート。ボールはゴール左上角に一直線。相手G Kは本能的にセービングしていた。かろうじて指先に当てゴールを防いだ。G Kのファインプレーであった。そのC Kで、ゴール前のヘディングはバーに当たり得点にならず。

後半に入り、パスが回り始めたことでコートがいつものような広さを感じさせるようになった。相手も前半でかなり消耗したのだろうと思う。しかし、守備は依然固く、なかなか得点は許さない。さらに、ボールを奪つた後のカウンター攻撃には目を見張るものがあり、何本もの速いパスをつないでゴールに迫つてきた。しかし、こちらのD F陣・G Kはそれを凌いだ。

後半11分、左から佐々木がボールを中に入れる。ゴール前で合わせた佐藤のヘディングシュートはゴールにならなかつた。

後半13分、相手D Fがボールを回し、攻撃のタイミングをうかがう。D FがG

Kへボールを戻す。安全のためであろう、ペナルティーエリア角あたりだった。G KはD Fへボールをパスしたはずだった。しかし、こちらのFWが詰めたためか、意図したコースに行かなかつた。ボールは中央へ行ったため、三富の餌食になってしまった。パスをカットした三富は迷いなく瞬時に左足でロングシュート。ボールは無人のゴール右サイドネットに吸い込まれていった。1-0。

相手側にしてみれば不運としか言いようが無いし、その前もその後もこちらのシュートを悉く防いだG Kにしてみれば痛恨の失点だったであろう。しかし、決めた三富の勝負強さはチームの勝利に大きく貢献した。

その後もこちらの攻勢は続き、何度もいい場面があった。

後半21分、佐々木。

後半28分、長浜。

終了間際、佐々木。

雷と雨に翻弄された厳しい試合は、1-0で勝利することができた。

もう一つの勝因に「ユニフォーム」があるかも知れない。

トンペイクラブのチームカラーは学友会と同じ「緑」である。今のユニフォームは自分が監督になる前「仙台クラブリーグ会長杯」で優勝した時の賞金で買ったものである。10年以上使っていることになる。なので「くたびれた感」は否めない。加えて緑のパンツが数枚足りない。理由はいろいろあるが、兎に角足りない。購入しようとしても同じ色の「緑」はなかなか見つからない。結果、昨年は全試合「白-白-白」で試合をせざるを得なかった。

今年も同じようになるかと思っていたが、新メンバー6人が学友会出身、継続メンバー4人も学友会出身で、皆同じ柄のユニフォームを持っていることが分かった。あと何枚かあれば、「緑-緑-緑」が復活できるのではないかという光が見え、選手達の大きな協力もあって今日、それが実現した。

【鈴木修平.記】

P.S 腰の不調を押して主審を務めてくれた吉田さん、連日の残業でお疲れの中副審を務めてくれた残間さんありがとうございました。

■2022年6月26日（日曜日）県リーグ第6節 六郷クラブ戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所：めぐみ野A

【結果】 7-0 で勝ち

【得点者】 【1点目】 佐々木道滉

【2点目】 長浜慧昌

【3点目】 坂井響

【4点目】 中村航太

【5点目】 O G

【6点目】 佐々木道滉

【7点目】 佐々木道滉



【アシスト】 【1点目】 なし 【2点目】 古賀広見 【3点目】 なし 【4点目】 坂井響

【5点目】 なし 【6点目】 坂井響 【7点目】 長浜慧昌

【スタメン】 G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、向川大成⑩、佐々木道滉⑯、古賀広見⑭

M F : 菅野隼也⑥、中村航太⑮、佐藤博亮⑯

F W : 長浜慧昌⑦、坂井響⑯

【控え】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【主審】なし

【副審】六郷クラブさんに対応していただいた。(13:00)

【評】

季節は「梅雨」なのだが、昨日は34℃だった。今日は天気予報では33℃と言っている。真夏である。

先週に引き続き暑い中での試合となった。救いはグランドが滅多に使えない「Aグランド」であることだった。A, B, Cの3グランドがあるが、県リーグで使用するのは殆どがCグランドで、Aグランドで行なうことは昇格選考試合の決勝トーナメント以来無かったと思う。天然芝なので、足にもボールにも人工芝とは違う感触がある。いい結果に作用してくれればと思った。

今日の対戦相手は、六郷クラブだ。開幕戦で当たった相手である。普通は全チームと対戦してから2度目の対戦となるのだろうが、各チームの不都合日(開幕前に提出する)や全国選手権の予選(社会人・クラブチーム)との兼ね合いでこうなっているのだろうと推察している。

開幕戦の時メンバーは10人だったが、今回も10人である。このように暑いと一人少ないことは圧倒的に不利である。できるだけムダな動きをせず、できれば後半まで試合が決まらないことを願った。

11:00 キックオフ。

相手チームも若い人を補強しているものの、暑さは年長者はもちろん若い人からも容赦なく体力を奪う。チャンスがあれば勝負するが、少しでもムダな動きをせず、できれば後半まで体力を温存しようとするのがセオリーであろう。

こちらも、人数が少ないところはコートを大きく使い、スピードのある速いパスを回すことで補い、リズムを作り、機を見て勝負することを心掛けた。

10分、20分、30分と両チームともそういう流れで経過した。

均衡が破れたのは31分。コーナーキックからゴール前で混戦になった。幸運の女神は佐々木に微笑んだ。「ボールが目の前に来たので蹴っただけ」とは佐々木の言。1-0。

この1点は、しばし暑さを忘れさせてくれたようであった。

36分には右からD F 古賀がドリブルでオーバーラップする。ペナルティーエリア右角で相手D F をかわした古賀は、フリースペースに走りこんできた長浜へパスした。長浜はペナルティーエリア上で相手D F をマジックのようなドリブルで抜き、「ここだ！」というポイントで左足を振り抜いた。ボールはインにカーブし、左ゴー

ルポストに・・「ガン！」という音とともにゴールした。G Kはセービングしても届かないと判断したと思う。久々に豪快な技ありシュートだった。2-0。

前半終了間際の40分、坂井が左センターライン付近から一人で軽快なドリブルで相手をなぎ倒し、ゴールに迫るが、最終的に相手の捨て身のディフェンスに阻まれる。

前半、2-0と予想外のスコアで折り返す。

後半開始早々、相手攻撃を向川が俊足で無にした。

後半3分、佐藤のナイス守備。

後半5分、菅野のシュート。

人数が1人少なく、その分動く量も多いはずで疲れが見えても不思議ではないのだが、見る限りまだ動きにはキレがあった。

後半7分、佐々木のパスは相手D Fのスペースに走りこんだ中村ヘピタリと合った。中村はドリブルでゴール前まで肉迫しシュートした。低く速いシュートだったがG Kの反応が優り体に当てて防いだ。しかしそのボールはゴール前に詰めていた坂井に幸運をもたらした、頭で決めて3-0。待望の3点目であった。

後半21分、右サイドで相手D Fを崩し、引き付けておいた坂井は、G Kとの線上にラスト・パスを出した。意図を察知したであろう中村はそのコースに入り、G Kがキャッチする直前でボールをカットした。一瞬の後、中村の前は無人のゴールだった。4-0。

クーリングオフの後の後半31分、G K田村のゴールキックは左にいた佐々木にピタリと合い、一発でラストパスになってしまった。佐々木は迷いなくゴールに一直線。強烈なシュートが炸裂した。G Kに当たったと思った次の瞬間、「バチン！」と音がしボールはゴールネットの中だった。G Kに当たったボールがカバーに来たD Fに再び当たった音だった。シュートが如何に強烈だったか・・当たったG K・D Fは痛かったんだろうな。5-0。

38分、坂井が左サイドの佐々木へ絶妙のパス。G Kは取れると思ったか、取らないといけないと思ったか・・ペナルティーエリアを超えて出てきた。佐々木は左へ交わしてゴール・・というイメージもあったろうが、出会い頭にG Kの頭上を越すロービングボールを放った。ボールは狙い違わずゴールネットを揺らした。6-0。

終了間際39分、長浜が左からドリブルで独走する。相手D Fが遮る。右から佐々木が上がる。長浜はそれに合わせスピードを殺したパスを横に出す。佐々木は中へ切れ込み右足を強蹴した。弾丸ライナーはゴール右サイドネットに突き刺さった。G Kは一步も動けないほど速かった。レフティかと思いまや右足でもこれだけのシュートを打てる・・今後各チームのマークが厳しくなりそうな予感がする。7-0.

天気予報の通り33℃の真夏日で暑かったが、途中曇ったりしてくれたこともあり、最後まで体力は大丈夫だったようだ。おまけに10人で勝利できたことで、心地良い疲れになってくれたらこれ以上のこととは無い。【鈴木修平.記】

P.S 各チームに割り当てられている「副審」の調整が今日はどうしてもつかず、県リーグのLINE連絡網でS O Sのお願いをしたところ、六郷クラブさんが引き受

けて下さり、騒ぎを起こさずに済んだ。感謝します。m(_ _)m

■2022年7月3日（日曜日） 県リーグ第7節 田尻FC戦

試合開始 15:00 (40分ハーフ) 場所：めぐみ野C

【結果】 4 – 1 で勝ち

【得点者】 佐藤博亮【1点目】

菅野隼也【2点目】

菅野隼也【3点目】

佐々木道滉【4点目】

【アシスト】 中村航太【1点目】

なし 【2点目】

中村航太【3点目】

中村航太【4点目】

【スタメン】 G K : 田村祥太郎①

D F : 鈴木涼平②、三富皓介⑤、佐久間遼⑨

M F : 向川大成③、菅野隼也⑥、中村航太⑧、佐々木道滉⑪

F W : 長浜慧昌⑦、坂井響⑩、佐藤博亮④

【控え】 梅田龍太郎⑫

【交代】 佐藤博亮④→梅田龍太郎⑫【後半25分】

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【運営当番】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝(7:45～13:00,17:00)

【主審】 なし

【副審】 大上悠太(11:00)

【評】

暑い！ こういう真夏日の時はサッカーはやってはいけないのでないのではないか？ と毎年思う。しかし、選手たちが頑健なためか事故も起こらないためか、続いている。運営当番で朝から太陽にジリジリ焼かれ、記録のための机も火傷しそうに暑くなっていた。選手の皆さんには「くれぐれもご注意下さい。具合が悪くなったらすぐ手を挙げて下さい」と言って回っていた。

50年前、仙台に来た時真夏でも30℃に届かないことに驚いた記憶がある。山形市出身の自分には真夏は36℃位が普通で、仙台は涼しいと感じたが、それも初年度だけで次第に暑く感じるようになっていたようである。

今日の試合は第4試合。空気が暑さで朦朧としているような感じであった。相手は田尻FC、場所はめぐみ野Cグランドだ。メンバーは12人。今日、坂井と同期の佐久間遼君が新加入・デビューした。プレーヤーと2級審判員の二刀流である。

15:00キックオフ。暑いので、最初は様子見でゆっくりしたペースで進むのかと思いきや、いきなり早い展開となつた。先制したのはトンペイクラブだった。

前半4分、三富から中村へ、中村は右ペナルティーエリア外から中へタイミング



を見て早いスピードボールを入れた。ゴール中央に詰めたのは坂井。坂井はG KとD Fを引き付けておいてスルーした。そこへ走りこんでいたのは佐藤。サイドで狙いすましてG Kの左下を抜いて見事にゴール。鮮やかな連係プレーであった。1 - 0。

その直後の5分、D F陣に一瞬隙ができたか真ん中を相手FW2人に突破され、文句のないシュートで1 - 1。

立ち上がりの5分は、得点はしても、できれば失点はしたくないのが普通である。こちらにとっての1点は朗報だったが、相手にしてみれば痛い失点だったはず。しかし、すぐに同点にして振り出しに戻したのは流石である。

試合が始まる前、今年の新メンバーにとっては初めての相手である田尻FCさんについて、両翼からスピードで突破し中で合わせるカウンター攻撃を得意としている、スピードがあるから決まると手も足も出ない。最後まで力を抜かないで、それで完敗したり逆転されたりしたことがある、ということは伝えていたが、真ん中については伝えていなかつたことが悔やまれた。

その後は暑いながらも良く動いて相手ゴールを脅かした。相手も負けず劣らず対峙し1 - 1の均衡が続く。

前半10分、佐々木。

前半16分、向川シュート。

前半20分、佐々木、長浜・・

前半33分、坂井のシュート。

前半35分、ゴール前であわや1点の場面・・

前半43分、佐々木からゴール前の向川のパスが合った。向川にとっては難しくないボールに見えたが暑さのためかシュートは「天ぷら」になってしまった。

後半に入る。

後半5分、向川、相手からボールを奪取してシュートまで行ったがゴールは奪えず。

後半16分、D F鈴木(涼)がゴール前に飛んできたシュート気味のボールに飛び込んだ。G Kとの出会い頭にボールのコースを変えてゴール！という意図だったが惜しかった。

次の1点を取った方が有利になることは誰が見ても明らかで、時間が経過するにつれその感は強くなつていった。

後半のクーリング・オフの後、佐藤と交代して梅田が入った。いつも運動量の多い佐藤は今日も精力的に攻撃に守備に動いていた。均衡している試合の交代には神経を使う。この交代が凶と出るか吉と出るか・・

後半27分、ペナルティーエリア外からD Fに囲まれながらも鋭い振りでシュートした佐々木だったが、相手G Kに阻まれる。

後半28分、菅野が中盤センターサークルから少し相手陣内に入った所で浮き球気味のボールの下を強蹴した。相手G Kはゴール前にいた。高く上がったボールはゴールバーすれすれに通過しバウンドしてゴールイン。G Kが前に出ていたのなら「さもありなん」だが、普通にゴールエリアの中にいたのだから、いかにボールの

入射角が深かったかということがわかるだろう。こういうゴールは見たことがない。G Kにとっては不運だったとしか言いようがない。2-1。

後半34分、坂井からG Kとの線上へパスが出る。先週と同じ意図だったが今日は中村にG Kをかわすだけのスペースが無かった。直接シュートしたが、少しだけ外れた。

後半37分、相手のスローインを奪取した中村はそのままペナルティーエリアまで一気に独走。ペナルティーエリア付近で中村からパスを受けた菅野は、ワントラップして相手D Fの動きを見、ゴール中央辺りで右足を振り抜く。腰の入った強烈な弾丸シュートはG Kのセービングを無にしてゴール左隅に突き刺さった。3-1。

菅野の2本のシュートは、相手にとって自分達のディフェンスを責める要素は何も無かったと言って良い。こういうシュートは「仕方ない・・」と諦めるしかない。自分達の試合でもそういう失点は2点は覚悟している。

時間的にも、体力的にもこれで終わりかと思ったが、今年のチームは最後まで力を抜かない。

後半41分、ゴール前で坂井が放ったシュートは誰もが「入った！」と思った。しかし「ガン！」という音とともに左ポストに当たり、ボールはゴール前を横切って去って行った。

残り時間が殆ど無くなった42分、今日何度もチャンスを作ってきた中村が最後の仕事、左を上がってきました佐々木にラストパス。佐々木のスピードはターボ車のように加速する。ボールにタッチしたと思ったらD Fはもう後方だった。前にはG Kだけ。G Kの動きを見てゴールポスト右下に流し込んだ。4-1。

佐々木は今日は守備をメインに、チャンスとみたらドリブルで上がって勝負・・という場面が多かった。相手も、抜かれると失点につながるので厳しくチェックしていた。そのため何度も倒される場面があった。その鬱憤も解消できたのではないか。

終了間際の攻撃でG Kからこぼれたボールを梅田がシュートした。ゴール右上隅を狙ったが惜しくも外れた。後半、難しい場面での交代だったが、梅田が入って明らかに流れは変わった。交代は「吉」だった。【鈴木修平.記】

P.S 副審を受けてくれた大上悠太君に感謝です。

■2022年7月10日(日曜日) 県リーグ第8節 ソニーSC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 4-0 で勝ち

【得点者】 坂井響【1点目】

 坂井響【2点目】

 坂井響【3点目】

 桂島大和【4点目】

【アシスト】 坂元智行【1点目】

 菅野隼也【2点目】



菅野隼也【3点目】

なし【4点目】

【スタメン】 G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、三富皓介⑤、古賀広見⑭、佐々木道滉⑯

M F : 向川大成⑩、菅野隼也⑥、中村航太⑯

F W : 坂元智行⑨、坂井響⑭、佐藤博亮(79)

【控え】 長浜慧昌⑦、千葉陽太⑩、桂島大和⑭

【交代】 坂元智行⑨→長浜慧昌⑦[15分]、佐藤博亮(79)→桂島大和⑩[HALF]、
古賀広見⑭→千葉陽太⑩[50分]

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【主審】 なし

【副審】 吉田和朝(9:00~)

【評】

今日の試合会場「鳥の海運動公園」はトンペイクラブの監督になって初めてのグランドである。普通に歩いていると海は見えなかつたが、高台に上ると太平洋の波しぶきが見えた。危険は承知で日頃の景観を優先するか、低頻度大規模災害のために景観を犠牲にするか悩ましいところである。

2011.3.11の大震災の年から監督を引き受けて12年目、新しい会場が増えたことは喜ばしいことではある。そして、もうあの土のグランドには戻りたくない、というのが正直な気持である。選手にとってはいいプレーができ、いい結果につながるし、スタッフにとっては泥だらけのユニフォームの洗濯から解放されるのがどれだけ嬉しいか計り知れない。

今日も暑いことに変わりないが、体感温度は海からの風で先週よりは低く感じられた。敷地が大きく、空が高く、青いからかこれまでのどの会場よりも広く感じられた。余談ながら、近くの「ふれあい市場」の「あさり弁当」が絶品だった。

今日集まったメンバーは14人。その中に初めての人が2人、久々の人が1人。7月に仙台に転勤で戻った坂元智行君(菅野君の同僚)。引っ越しも完了していないのに、この暑い中駆けつけてくれた。もう一人は、6月から本業が忙しく来れなかつた千葉陽太君。もう一人は昨年異色のプレーで活躍してくれた桂島大和君、本業の見通しが付いたので再加入してくれた。

13:00キックオフ。今日の相手はソニーS C。リーグ戦2度目の対戦である。グランドは人工芝で極めて平坦、凸凹は殆ど無さうなので余計な事に気を取られないで、精度の高いパスが勝負の決め手になりそうな予感があった。逆に、ボールのコースが予測できるので、接触プレーが激しくなるのではないかという心配もあつた。

前半2分、いきなり菅野がシュートして景気をつける。

前半4分、相手陣内にいきなり攻め込む場面が出現する。坂井は相手D F何人にも囲まれながら持ち前のスピードとボールコントロールでペナルティーエリアを横

切る。右前に今日デビューの坂元が並走する。坂井は一旦ボールを坂元に渡す。坂元はゴールに一直線。G Kを引き付けて中へ折り返す。そこには坂井が・・次の瞬間、ゴールネットが揺れていた。

この時間帯、しかも今回初出場の坂元がいきなり結果を出すとは誰も予想しなかつたであろう。坂・坂コンビ(?)でしかも同期だから阿吽の呼吸だったのかも知れないが、ラストパスを出した方も、決めた方もこのタイミング以外無かったであろう「一瞬」だった。1-0。後で気が付いたが、坂元はボールを折り返すときゴロではなくバウンドさせた。ゴロだったらゴールにならなかつたかも知れないと思った。バウンドしていたボールだから坂井の勘性にフィットしたのであろうと思った。

前半8分、F K佐々木。

前半10分、坂元。

坂元に先発を譲った長浜は、前半のクーリングオフから登場。ボールコントロールし易い人工芝で何度も相手D Fを突破するが、相手は簡単にはシュートコースを空けてくれない。逆に隙を見せて誘い込み2人がかりでチェックするような感じだった。綺麗な芝生での相手のタックルは怖い。接触プレーをしなくてもフリーでシュートができるようなワン・ツーコンビネーションを期待したい。

前半27分、坂井。

前半28分、G K田村ファインセービング。

前半30分、佐々木、中村。

前半34分、中村。

前半40分、坂井が左ペナルティーエリアからゴール前に怒濤の攻めで迫る。G Kはペナルティーエリアの前に出ていた。坂井のスピードに慌てて戻った感があった。G Kとのクロスプレーの後、ボールはゴールネットを揺らしていた。2-0。時間帯と言い、決め方と言い、これ以上望むべくもない得点だった。

ディフェンスは廣瀬をセンターに、サイドを三富、佐々木、古賀。中盤を菅野、中村、向川。何年か前一緒にプレーしていただけあって、パスワークは早くて正確だ。相手F Wが詰めてきても徒労に終わらせることができ効果的だ。今のところ、これはどのチームにも通用していると思う。ディフェンダーの記事が多い時は守勢で負け試合の事が多い。なので記事が少ないのでチームにとって良い兆候と思って欲しい。

6/19に右目の上を打撲して腫れあがっていた傷も癒えた古賀は、ディフェンスにオーバーラップにキレのある動きで見せ場を創った。

左から何度も相手D Fを崩して切り込んでチャンスを創った佐藤だったが、最後の詰めで相手の老練さに軍配が上がったようである。しかし、相手D Fの体力を消耗させてくれたことで後半から入った桂島が動きやすくなつたことは間違いない。

後半に入る。

後半、古賀に代わって入った千葉はFWトップにはいる。久々の出場で、しかもこの暑さで動けるか心配したが取り越し苦労に終わった。バネのあるスピードダッ

シユで相手D Fのパスコースを狭める。今日は、得点こそ無かったが次回からの活躍が楽しみである。

後半11分、相手陣内の右コーナー辺りからのF KをG Kが蹴った。ボールはセンターサークル付近の相手に渡った。しかし、その辺りにいた坂井の反応が尋常でなく速かった。ボールを奪取して間髪を入れずゴールに流しこむ。G Kは必死に戻ったが間に合わなかった。難しい場面だったが何事も無かったように決めた。3-0。

接触プレーになると百戦錬磨の強さを發揮する相手チームである。これまでの経験と技で悉くトンペイクラブの突破を封じ、フリーでシュートさせる状況を作らせなかつた。ベンチでは、倒される度に怪我をしないかハラハラした。接触しないでフリーな場面を作ることが、こういう試合巧者と渡り合う時の一策かと思う。

そんな中でそれをモノともしなかつたのが坂井だった。坂井はこういう相手には滅法強い。ボールが来た時、考える時間が無いと本能的に動くしかない。その結果が3得点だろう。前回非の打ちどころが無かつた相手G Kは、今回も同様だった。しかし、常識の外にいる異邦人C F坂井がボールに向かって詰め寄ると動搖の色が見えたのは自分だけだったろうか？

後半34分、ペナルティーエリア内で次のタッチでシュートという桂島を、相手D Fはたまらず倒してしまう。PKを得る。桂島は落ち着いて左上隅に強烈なPKゴールを決めた。4-0。

後半36分、今日はグランドのせいか相手との間合いがうまく取れなかつた佐々木だったが、終盤になつていつもの破壊力が復活。しかし、ゴールにもう一つ好かれなかつた。

試合終了間際の後半40分、相手も意地を見せる。左サイドからゴールに右カーブするシュートを放った。「これは！」と固唾をのんだがG K田村のジャンプ・セービングでゴールさせなかつた。あまりセービングを披露する機会に恵まれなかつた(?)田村だが、健在ぶりを示すことができた。【鈴木修平記】

P.S 副審を務めてくれた吉田さんありがとうございました。

■2022年8月7日（日曜日）県リーグ第9節 中新田SC戦

試合開始 9:00 (40分ハーフ) 場所：松島フットボールセンター1

【結果】 1-0 で勝ち

【得点者】 桂島大和【1点目】

【アシスト】 菅野隼也【1点目】

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、三富皓介⑤、

佐々木道滉⑯

M F : 向川大成⑩、菅野隼也⑥、

中村航太⑯、坂元智行⑫

F W : 長浜慧昌⑦、坂井響⑭、佐藤博亮(79)



【控え】桂島大和④

【交代】佐藤博亮(79)→桂島大和④[30分]

【警告】長浜慧昌

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【主審】なし(延期)

【副審】なし(延期)

【評】

今日の試合は第1試合で9:00キックオフ。場所は松島フットボールセンター・ピッチ1。対戦相手は中新田サッカークラブ。両チームとも現在8戦全勝であり、今日の試合が一つの山場であることは間違いなかった。自分が到着した7:30頃には、相手チームのメンバーはほぼ全員揃っていたようだった。

天気は曇り、暑くないのは嬉しい。これまで9:00キックオフの時は、集合時間は1時間30分前の7:30になっていた。しかし、会場によっては門が開いていなかつたり、入場制限があつたりするようになったので8:00にした。今日集まったメンバーは12人。

9:00、キックオフ。

立ち上がり、相手は今日の試合にかける意気込みと、十分な練習時間があったこともあり動きは軽快でメリハリがきいていた。一方、こちらも意気込みでは負けないものの体がまだ半分眠っているような感じだった。相手の厳しいボディ・チェックを何度も受けようやく目が覚めたような感があった。

開始10分を経過する頃によくやく本来のプレーに戻りつつあった。

これまでの相手の戦績を見ると8試合で2失点と少ない。今日始めて対戦してみて、確かに守りは固いと思った。加えて、突破されると得点につながる危ない選手には、それなりの対策をしていたように見える。こちらも基本的なところは押さえた上で、これまで得点の多い選手には注意を払っていた。そのためお互い中盤を制し、決定的なチャンスを作り出すことができない状態が続いていた。そういう意味で緊迫した締まった試合といって良かった。

しかし、30分を過ぎたあたりからチャンスを作れるようになってきた。

31分、中盤で中村がボールをコントロール、右の長浜にパス。長浜は相手D Fを中へ連れ出して、マイナス方向にパスを出す。そこには坂井が走りこんでいて相手D Fをゴール・エリア右まで突破する。D Fを引きつけておいて、中に鋭角の早く低いボールを入れる。坂井の意図を読んでいたであろう中村が詰める。目の前にはG Kがいるだけだった。タイミングは良かったがジャスト・ミートしなかったか、ボールは左ポストをかすめて出て行った。

33分、佐々木、長浜。

38分、佐々木、F K。

39分、坂井。

こちらのチャンスだけではなく、当然相手にもチャンスがあった。カウンターからゴールを脅かされる場面が39分、41分と2度ほど続く。しかし、いずれもD F

陣とG K田村の好プレーで凌ぎ、前半を0－0で折り返す。

後半に入てもお互い相手の固い守備を破ることができず、一進一退の状態が続いた。1点が勝負を決めると思わせる試合内容だった。

後半13分頃、中央より少し左にいたフリーの坂井に後方から早いボールが出る。ボールはセンターラインを超えて左のタッチラインへ向かった。ペナルティーエリアの外に出ていた相手G Kは「危ない！」と思ったかゴールに戻らず、ボールに向かってきた。距離的にはG Kの判断は間違っていた。しかし、坂井のスピードはそれを上回っていた。一瞬早く触ったボールは前に転がった。その時、相手G Kと坂井が交錯し坂井は飛ばされて転倒した。「！？」・・・当然、主審の笛が鳴るものとばかり思っていたが鳴らない。ベンチから抗議したが、結局笛は鳴らなかつた。

これまでの経験だと、1点を争うゲームでこういう場面があると優勢のチームが負けることが多くベンチはイヤなムードに包まれた。

しかし、それを吹き飛ばす場面が訪れる。

後半21分、中盤でボールをコントロールしていた菅野から縦パス1本。センターライン少し左を駆け上がっていた桂島にピタリとあった。相手D Fは桂島の右にぴたりと付いてボール奪取のタイミングを窺っていた。桂島はその上をいった。ボールにタッチしたと思った直後、相手D Fは桂島の背後になり、次の瞬間転倒した。桂島はゴール前から出てきたG Kと1対1になる。ボールはG Kの右脇を抜けてゴルネット右に収まった。「ウォー！」ベンチから大歓声が上がった。1－0。

その後、相手は交代メンバーをフルに使って挽回を試みて来た。

後半28分、30分、35分とそれが功を奏しそうな場面があったが、D F陣とG K田村はそれを全て無にした。

逆に25分、26分、27分、31分、32分、41分とこちらにもチャンスがあったが追加点にはならなかった。

40分を過ぎてもなかなか終了のホイッスルが鳴らなかつたが、45分頃ようやく決着した。

1月の運営会議で今年の県リーグ2部は10チームで年間18試合という日程を知った時、今年は残留できるだろうか？とまず思った。その前にメンバーが集まらなければチームを閉めなければならないとも思った。それが、4月の開幕戦では何とかチームとして出場することができ、おまけに10人にもかかわらず5－1で勝つことができた。その時は「よく勝てたものだ」という思いだったが、今考えればそれだけ力のあるチームだったのかも知れないとこれまでの9試合を見て思う。

【鈴木修平.記】

■2022年3月28日（日曜日） 県リーグ第10節 ランスボルチクルーピFC戦

試合開始 13:00 （40分ハーフ） 場所：鳥の海運動公園

【結果】 4－1 で勝ち

【得点者】 鈴木涼平【1点目】梅田龍太郎【2点目】坂元智行【3点目】

桂島大和【4点目】

【アシスト】梅田龍太郎【1点目】坂井響【2点目】坂井響【3点目】

坂井響【4点目】

【スタメン】G K : 桂島大和④【前半】／向川大成⑩【後半】

D F : 廣瀬海音②、三富皓介⑤、吉迫大輝⑦

M F : 向川大成⑩、菅野隼也⑥、鈴木涼平⑤、長浜慧昌⑦

F W : 坂井響⑭、佐藤博亮(79)、梅田龍太郎⑦

【控え】坂元智行⑨

【交代】梅田龍太郎⑦→坂元智行⑨[HALF]

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【主審】小川修一(9:00～10:30)

【副審】吉田和朝(9:00～10:30)

【評】

鳥の海運動公園、第1試合は冷たい雨だった。

主審を小川さん、副審を吉田さんが務めてくれたが、雨もさることながら試合の方も大変だった。

我々の試合は第3試合、13:00から天気予報ではその頃には雨が上がることになっていた。最近の天気予報は精度が良いので期待した。ただ、集合時間の11:30にはまだまだ雨足が強く、皆車の中で様子を伺っていたようだった。

今日の相手は「ラソススポルチクルービFC(通称:ラソスFC)」、初めての対戦相手である。ラソスFCは今年昇格してきたチームでどういう力量かは未知数である。これまでの県リーグの戦績を見ると、最初の何試合かはリーグ戦に慣れず力を発揮できていないように見えたが、中盤戦に入り力を発揮し上位に食い込んできている。得点力もあり、侮れない相手である。

今日、集まったメンバーは11人。と思ってメンバー表を提出したが、坂元が試合開始前に間に合ってメンバー表に追加してもらい滑り込みセーフだった。今日は、GK田村と現在得点王の佐々木が本業の都合で来れないことがわかつっていた。特にG Kはフィールド・プレーヤーが代わりを務めることは悪夢のようなものである。以前にも何度かこういう場面があったが、「ジャンケン」が一番後腐れがないようである。少しでも負担を軽くするために、前半と後半2名とすることにした。

13:00少し前、キックオフ。雨は小降りになってはいたが時折強くなったりで止んではいなかった。

前半のG Kは桂島だった。「緊張する～」と言って出て行ったが、当然である。試合開始にキーパーグローブが間に合わなく、やむなく園芸用のいわゆるビニ手を付けている。しかもゴールを背にすると、ゴールが異様に大きく感じられ、シュートされると全部入るのではないかという強迫観念に襲われる。D F陣もそれは百も承知で「一本たりともフリーでシュートさせない」という心意気が伝わってくるようだった。今日のディフェンス陣は、廣瀬、三富、吉迫、鈴木(涼)、菅野らが務めた。



試合開始5分、右サイドから相手陣内に攻め入る。密集したゴール前の梅田にボールが渡る。梅田は相手DFを引きつけてボールを後ろに戻す。そこにはMF鈴木(涼)が待っていた。ゴール前を横切るようにボールを運ぶ。相手DFはシュートをさせまいと必死で迫る。鈴木(涼)は相手が触る一瞬前に転倒しながらも左足でシュートした。ボールはゴール左上隅に突き刺さった。相手GKも必死に飛んだが間に合わなかった。よく腰が入ったと感心するプレーであった。1-0。

この開始5分という時間帯に先制できたことは大きかった。これでチームのムードが一気に上昇したことは言うまでも無い。その後、圧倒的に中盤を制していたように見えたことからも、それがわかった。しかし、途中で相手が10人であることに気づき、いつもの勢いが影を潜めていたのはそれもあったようを見えた。いずれにしても、決定的に危ない場面は少なく、GK桂島は無失点でお役御免となる。

前半終了間際の40分、相手ペナルティエリア付近で坂井がDFを何人も引きつけてシュートのタイミングを窺っていた。坂井は、突然左にボールを振った。そこに走り込んでいたのは梅田、DFが急いで戻ろうとしたが間に合わない。ほぼ無人のゴールにきっちりシュートを決めた。2-0。値千金の追加点だった。

後半は向川がGKのユニフォームを着た。チーム内では小柄な向川だが、ゴールを背にすると実に大きく見えるのが不思議だった。これまで、こういう経験があつたのかわからないがボール対応や判断には刮目するものがあった。後半終了間際、疲れの見えたDF陣が「門」になり、そこを破られ相手FWと向川が1対1になる場面があった。誰もが失点を覚悟したが、相手にシュートさせるように動き、そのボールを足に当ててコースを変えるという離れ技で相手の得点を無にした。ベンチから大喝采が上がったことは言うまでも無い。

前半1得点1アシストといい仕事をした梅田に代わり、後半坂元が入る。

後半12分、右サイドでボールをコントロールした俊足坂井は、相手DFをあつという間に振り切り、狙いすまして中央に低く速いボールを水平に出した。走り込んだのは坂元、ペナルティエリアの外でゴールまで大分距離があったが、迷いが無かつた。ダイレクト・シュートは芝生の穂先が一斉になびくような地を這う弾丸ライナーとなってゴール左下隅に炸裂した。アシストもシュートも見事というしか無いゴールだった。3-0。

後半17分、中盤右での攻防で菅野にボールが渡る。菅野は右サイドにいた坂井にパス、坂井は相手DF2~3人を引き付けていた。前に突破するように見せて、中へアーリーコロスのパス、ボールはGKから遠ざかるようにカーブした(だからGKは出られなかった)。走り込んで来たのは桂島、場所はペナルティエリアの辺り、ワンタッチで1人目のスライディングを交わす。体勢を立て直してペナルティーエリア上をドリブルした。相手DFは反則に神絶をとがらせながらブロックする。桂島は引玉を駆使して翻弄した。一瞬、シュートコースが空いたタイミングを桂島は見逃さなかった。ボールは、GKのセービングを擦り抜けゴール左下隅に決まった。

4-0。

ここでDF陣の張り詰めていた緊張感が少し緩んだか、守りに少し隙が出るよう

になり何度か攻め込まれ1点を計上してしまったが、4-1で乗り切った。予報よりは少し遅れたが、試合後半には雨は上がり太陽が出ていた。【鈴木修平記】

■2022年9月18日(日曜日) 県リーグ第11節 バンブルビー白石戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 2-2で引き分け

【得点者】 坂井響【1点目】菅野隼也【2点目】

【アシスト】 中村航太【1点目】長浜慧昌【2点目】

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、向川大成⑩、

佐々木道滉⑯

M F : 菅野隼也⑥、中村航太⑮、

長浜慧昌⑦、佐久間遼⑯

F W : 坂井響⑭、千葉陽太⑯、

佐藤博亮(79)、

【控え】 桂島大和⑩

【交代】 千葉陽太⑯→桂島大和⑩[後半5分]

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【主審】 佐久間遼(15:00~16:30)

【副審】 吉田和朝(9:00~10:30)

【評】

試合当日、九州地方では「これまで経験した事のない超大型台風14号」のニュースが目白押しであった。瞬間最大風速75mと聞いて「どうすればいいの！」と思ったのは自分だけではないだろう。とにかく勢力が弱くなってくれることを願うだけであった。

その影響もあってか、今日は変に生ぬるい風と湿気で不快指数100%と言って良かった。この鳥の海運動公園では、ひっきり無しに吹いてくる風が結構強く、あまり心地良くないのが気になった。

今日の相手は、バンブルビー白石。先週、中新田SCと引き分けている。試合ごとに力をつけてきているチームである。今日は「風」が両チームにどう影響するかが勝敗の分かれ目と見た。

11:00、キックオフ。

両チームともボールは高く上げず、転がしてなるべく風の影響を受けないようにしようという意図が垣間見えた。相手FW・MFは、こちらがボールを持つと次のプレーをさせないようにすぐに詰めてきた。全力で來るので相手の運動量は半端無かったであろうし、こちらはミスが失点に直結するので気が抜けなかった。そのためか、DFがボールをコントロールし、回してサイド・チェンジを試みるがなかなか



か前につながらない状態が続いた。

中盤にボールを出せないのでサイドにロング・パスを出すと、今度は風で狙ったところから少し外れ、相手のボールになってしまふ。いつものようにボールがつながらない。

前半15分、相手のシュートをG K田村が好セービングで防ぐ。その後、相手の左サイドからの攻撃をタッチラインまで出て来てクリア、危険を未然に防いだ。好判断だった。その後、出たボールをスローインした。G Kがスローインするのは長年生きてきたがこれまで見たことがない。初めて見るプレーであった。田村がそれを披露した。しかも「ファール・スロー」という「オチ」もつけてくれた。

前半16分、相手は何度目かのC Kを得る。風を考えた良いコーナーキックを入れてくる。ボールは早い。GK田村はいつものようにジャンプしてキャッチした・・はずだった。しかし、ゴールネットが揺れていた。0-1。

しかし、これに刺激されたかこちらの攻勢に拍車がかかった。2分後の前半17分、相手陣内右ペナルティ・エリア外での攻防、ボールをコントロールした坂井は前にいた中村に逆スピン気味の縦パス、中村はトップ・スピードでボールを受ける。相手D Fは必死で併走する。中村は一瞬止まる、と見せかけて止まらない。併走していた相手D Fは完全に振り切られた。ゴールラインギリギリのところで狙いまして鋭角にボールを戻す。そこへはボールが来ることを当然の事として走り込んでいた坂井がいた。慎重に慎重を期したシュートはG Kのセービングを無にしてゴールネットを揺らした。これまで何度も披露してきた中村・坂井ならではの阿吽の呼吸のプレーだった。1-1。失点してもすぐに取り返すことができるのが今年のチームの強味であろう。

これで弾みをつけて追加点を取れると期待したが、そう上手くいけば誰も困らない。逆に26分、攻撃に転じようとしたボールを相手に奪われ、守備を固める間もなく失点した。1-2で前半を折り返す。

ハーフ・タイムに吉田コーチから「相手以上に動かないとボールはつながらないのではないか？」と檄が飛ぶ。このところ試合間隔が大分空いたので体が思うように動かないのではないかという懸念があった。

後半に入りそれに応えてくれたか、運動量は見違えるように多くなり、攻撃に精彩が出てきた。しかし、得点には至らない。「同点になれば・・・」と誰もが思うがそれが簡単ではない。飲水タイムまでは「まだ時間はある」と思っていたが、後半30分を過ぎたあたりから「今日はもしかしたら・・・」という気持ちに傾いて行った。

後半35分、佐々木が左サイドから相手D Fに厳しくボディ・チェックされながらも、ものとせず快速ドリブルを飛ばす。一気にゴール前に迫る。左足のシュートの軌跡は見えなかった。「ガン」という音とともにバーとポストの角に当たってはね返ったボールが虚しく転がっていくのが見えた。「今日はダメかも・・・」という気持ちが支配してくる。これまで10連勝というものが出来過ぎで、いずれ土が付くのだからそれが今日ということで良いのだ、と気持ちを切り替えた。

後半40分を経過し、後は終了のホイッスルを待つだけという時間帯になった。長浜が中盤で菅野にパス。菅野はパスを受けるなりペナルティ・エリアの大分手前で右足を振り抜いた。ゴールまでは大分距離があり、所謂「ロング・シュート」だった。ベンチからはD Fに囲まれてよく見えなかつたが、G Kが左にセービングするのが見えた。次の瞬間「ウォー！」という大歓声が選手達から上がつた。見るとゴールネットが揺れていた。程なくして終了のホイッスルが鳴る。2-2。

後でビデオを見ると、シュートされたボールはG Kのところでバウンドした。ボールはスピードがある上にバウンドした後に沈んでコースが変わったように見えた。相手G Kは今日もミスは殆ど無いと言って良い出来であった。そのG Kが取れなかつた理由がわかるような気がした。いずれにしても相手を天国から地獄へ落としたシュートになったことは間違いない。「勝ち」に匹敵する「引き分け」であった。

相手チームにして見れば、2-1でほぼ勝利を手中にしていたにも拘らず、残り1分で同点にされ、「勝ち」が溢れ落ちてしまった。この試合「勝ち」と「引き分け」では雲泥の差があった。相手の落胆は想像に余りある。

これまで11年監督をやってきて、同点で終了間際に逆転されたことは何度かあつた。その悔しさは未だに蘇ってくる。しかし、その逆は無かつたように思う。なので、今日の同点劇はことの他嬉しかつた。それにしてもサッカーは・・恐ろしい。

【鈴木修平.記】

■2022年10月2日（日曜日） 県リーグ第12節 AYASHI FC戦

試合開始 15:00 (40分ハーフ) 場所：めぐみ野C

【結果】 3-4で負け

【得点者】 坂元智行【1点目】桂島大和【2点目】中村航太【3点目】

【アシスト】長浜慧昌【1点目】なし 【2点目】坂元智行【3点目】

【スタメン】

G K : 田村祥太郎①

D F : 廣瀬海音②、向川大成⑩、

佐藤博亮(79)

M F : 菅野隼也⑥、中村航太⑮、

長浜慧昌⑦、佐々木道渙⑯

F W : 坂井響⑭、梅田龍太郎⑬、

桂島大和⑪

【控え】 坂元智行⑫

【交代】 梅田龍太郎⑬→坂元智行⑫[前半25分]

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、佐々木元樹

【主審】 溝口(11:00~)★中止

【副審】 中山(11:00~)★中止

【評】



今日の第二試合は、主審と副審が割当たっていた。副審は小川さんがやってくれることになっていたが、3日前の木曜日に実家のお父さんが入院ということでできなくなつた。代わりが見つかるかどうかで一瞬青くなつた。しかし、田村君の尽力で中山君がやつてくれることになり一安心となつた。それが金曜日の午前だつた。夕方、県リーグ事務局からLINEの連絡が入る。見ると「10/2(日) 11:00からの試合は相手チーム棄権により無し」というもの。主審、副審の手当では毎回頭痛の種であり、せっかくの努力が無になりしばし立ち直れなかつた。しかし、それで今日はゆっくり家を出ることができた。天気も良く、ちょっと暑いが申し分なかつた。

今日の相手は、AYASHI.FC。今年昇格したチームで、気がつけば3位になつてゐる。何度か試合を見たが、並外れたパワーの選手を中心とした「力」を誇示するチームという印象だつた。各メンバーのプレースタイルや言動も違和感を覚えることも多く、兎に角、怪我をしないことを願うのみであつた。

15:00キックオフ。立ち上がりはスローペースで穏やかであった。しかし、徐々に激しくなつて行つた。

前半8分、相手がCKを得る。ボールは速く、カープしてゴール前に入つてきた。ゴールエリア角に落ちて来た時、いきなりボレー・シュートが炸裂した。誰も動けなかつた。0-1。

ベンチには何とも言えない沈黙が流れる。しかし、まだ時間は充分にあるし、チームの平均得点数は3点である。なので焦りは無かつた。

前半21分、相手がまたCKを得る。嫌な予感がした。1点目と同じコース、そして同じ場所で同じボレー・シュート、また誰も動けなかつた。0-2。決めた選手は異なつたが、キッカーは同じ選手だつた。

こちらのショックは大きかつた。その分、相手の土氣は上がりに上がつたようであつた。当然であろう。事もあろうに全く同じパターンで2得点、それも鮮やかなボレー・シュートである。どうやって立ち直るか、暗雲が立ち込める。

その時、遅ればせながら到着したのが坂元だつた。それまで体力の続く限り頑張つていた梅田に代わつて坂元が入つた。

相手チームは、まだ前半なのにもかかわらずGKがゴールキックのボールを取りに行くのに、亀のごとく異様に時間を掛けついていた、何度も。

そんな中で前半終了間際の40分、何度も目のコーナーキックを得る。キッカーは長浜。今日の長浜のコーナーキックのコースは、ゴール・バーギリギリに飛んでくるので触ればゴールすると思えた。後は、ニアに来るかファーに来るか、これは選手の閃きに委ねるしかない。長浜が蹴る。ボールは予想通りのコースを辿る。そして落下地点には「待つてました」とばかりに坂元がいた。ファーであった。狙いましたヘディングはゴール・ポストギリギリを通過してゴールネットを揺らした。

1 - 2。

これで後半に期待が繋がつた。嫌なムードも吹つ切れた感じがした。

後半に入る。坂元のゴールで1 - 2としたこともあり勢いはこちらにあつた。後半5分、佐々木がシュートまで行くがゴールとはならず。

後半14分、FKからチャンスがあったが得点には至らず。

逆に、後半22分、チャンスの後のカウンター攻撃で相手に得点を許してしまう。

1 – 3。

速いパスを緻密につないで相手のDF陣を突破していくことを心情とする我々に対し、パスをカットしたら自慢のキック力で相手のコーナーフラッグ方向を狙ってロングパスを飛ばす。俊足FWが追いついてDFと対決になれば一気にゴールのチャンスとなる。この戦法はわかっていてもカウンターでやられると防ぎきれないこともある。パスの精度がいいのか今日は何度もこのカウンター攻撃が成功していたようだ。向川はそれを読んで何度も相手のチャンスを潰し翻弄したものだから、相手ベンチをも敵に回すことになったようだ。

後半29分、左から何度もかの突破を試みた桂島は、前には絶対行かせないと相手DFの意志を読んだか、ドリブル・コースを中へ切り替えて相手DFを振り切る。場所はペナルティ・エリア左角辺りだった。いきなり右足を強蹴した。相手DF陣はまさかシュートするとは思っていなかったようで、誰も防ぎに行かなかつた。ボールは弾丸ライナーとなってゴール右サイドネットに突き刺さる。一瞬のことでGKはセービングしたがボールは既に動きを止めていた。これで2 – 3。相手チームが一瞬シーンとなり静寂に包まれたように感じたのは、気のせいだったか。

攻撃のパターンを見ると、相手は強烈なキックでサイドに振り、俊足FWが何とかしてゴールまで持っていく。こちらは、相手のプレーに危険を感じながらも、伝統のパス・ワークで局地戦を競り勝ち突破していく。ゴール前は運命の女神の世界である。同点は時間の問題と思えた。

しかし、運命の女神は今日はどういう訳か相手に微笑んだ。後半32分、ゴール前でFKを取られ、そこから得点され2 – 4となる。

試合の内容、攻勢では負けていない。後半33分、佐々木、坂井でゴール前に迫るが得点には至らず。

相手は、ゴール・キックのボールを亀の歩みで取りに行く。ある選手はゴール前で足が攣ったとアピールし、プレーを止めていたが、その後のプレーを見ると別に何の問題も無いように見えたのは私だけだったのだろうか？

徒にアウト・オブ・プレーで時間が過ぎていく中、後半終了間際の40分、最後まで自分達のプレーを貫いた最終のプレーで、坂元からボールは中村へ、中村は3人のDFとGKに囲まれながらどのようにシュートしたのかわからない、信じられないようなゴールを決めた。相手DF・GKも倒れながら「なんで入るの？」という感じでしばし呆然としていたようだ。ベンチが拍手・大喝采したことは言うまでもない(2人だけのベンチだったが)。3 – 4。

3 – 4で負けはしたが、むしろ、よくここまで頑張つていい試合にしてくれたという思いの方が強かった。

試合を終え、幸いメンバーに怪我は無かったが、後半30分頃ベンチ前で、相手怪力DFが至近距離から全力でボールをクリアした。ボールは轟音とともに監督鈴木を直撃、持っていた記録用バインダーがぶつ飛んだ。試合後、左手の親指の付け

根の皮が切れて剥がれてぶらぶらになっていた。翌日まで血が出ていた。

【今日の「たられば」ポイント】

- ① C K の 2 点目が防げていれば・・・(同じ得点を許してはいけない)
- ② 4 点目の F K を取られないようにしていれば・・・(ゴール前の FK は何としても避けなければならない)

【希望改善点】

- ① セットプレーで 3 点を失っている。CK: 2 点、F K: 1 点
 - ② ボレー・シュートは芯に当たれば防ぎようがない。しかし、一寸でも守備側の体が当たれば真芯に当たることはまず無い(と言い切れる)。なのでフリーでは打たせない。
- 【鈴木修平.記】

■2022年10月16日(日曜日) 県リーグ第13節 KEMONO in 榛木戦

試合開始 9:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野C

【結果】 1 – 3 で負け

【得点者】 佐々木道滉【1点目】

【アシスト】 なし 【1点目】

【スタメン】

GK : 田村祥太郎①

DF : 向川大成⑩、鈴木涼平⑤、

佐藤博亮(79)、佐々木道滉⑯

MF : 坂元智行⑫、中村航太⑮、

長浜慧昌⑦

FW : 坂井響⑭、梅田龍太郎⑬、千葉陽太⑯

【控え】 なし

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【主審】 吉田和朝(13:00~14:30)

【副審】 榛木さん(13:00~14:30)

【運営当番】 鈴木修平、小川譲次、

長浜慧昌、佐々木道滉、千葉陽太(13:00~17:00)

【評】

10月初旬に冬を思わせるような寒い日があったが、その後はいつものような秋の好天が続いている。今日も快晴ではないが晴れ間の多い良い天気だった。

今日は第1試合で9:00キックオフであった。そのため、集合時間は8:00だった。若い時は早起きが苦手だった記憶があるが、現メンバーはほとんど時間通りに来ていた。今の若者は昔と体質が変わったのかなと思ったら、一人遅れて来た。試合前15分位だったが、これでメンバーは11人となり、二重の意味で安心した。

今日の相手は、KEMONO in 榛木。場所は先週と同じ「めぐみ野Cグランド」だ。実は、今日割り当ての第3試合の副審を手当てできず、土曜日に「県リーグのLI



NE連絡網」に支援をお願いしたが、どのチームからも反応が無く焦り始めていた。夜になって榎木さんから「引き受けます」との連絡があり、やっとお願いすることができた。県リーグの事務局から「(その代わり)榎木さんの運営当番を代わってもらえますか?」と調整が入り、承諾した次第。なので、朝一番に御札を申し上げたことは言うまでもない。

9:00、キックオフ。

相手チームとは、県リーグに昇格した2014年に2位になって入替え戦を戦って以来9年のお付き合いである。その時のメンバーで今なおチームのゲームメーカーとして活躍している選手もいる。相手の戦法は我々監督・コーチは熟知しているが、選手にそれを伝えることは至難の業というより無理であろう。自分達の身体で知り、その時のチームメートと経験を共有して対策するしか術はなさそうである。

試合開始5分は意識していたこともあり、問題なく経過した。

今日のディフェンスは向川(涼)、鈴木(涼)、佐藤(博)、佐々木(道)である。個人のスキルは高く何の問題も無いが、今季初めての組み合わせなので連係プレーやフォローが機能するかどうかは心配であった。

前半8分、相手の左サイドからの攻め。DFは2人対応していたが中にボールを入れられる。ペナルティエリアの少し外で、相手FWは躊躇なくダイレクトにシュートした。地を這うようなスピードでボールはゴール左隅下に鮮やかに決まった。これは相手を讃えるしかないシュートだった。が、欲を言えば2人いたのだから数的優位を活かして危険を未然に防ぐことはできなかっただろうか?とも思う。0-1。

その後、一進一退の攻防が続いた。

前半22分、坂井が相手DFに囲まれながらもゴール前までドリブルで迫る。シュートまで行ったがゴールには至らず。惜しい場面だった。

前半35分、中央突破してゴール前でシュートという場面があったがわずかに外れる。

前半終了間際の40分にも、バスがつながりゴール前で絶好のシュートチャンスがあったが、相手DFに阻まれる。

前半は0-1で折り返す。

後半に入つて1分、相手のペナルティ・エリア内右でドリブル攻防中、副審のフラッグが上がった。ベンチからは良く見えなかつたが、ハンドリングのファールのようであった。主審との協議でペナルティ・キックとなった。キッカーは長浜。ここで同点になれば・・と思ったが、外れる。コーナーキックでは抜群のコントロールを見せる名手でも、こういう場面では思うように行かないこともあるようである。

後半はこちらの方が優勢に見えた。両チームとも徐々にプレーが激しくなっていく。

後半12分頃、こちらのファール(だと思う)に相手選手が激昂し、試合が一時中断した。50年前の我々の時代は、こういう場面は日常茶飯事だったが、サッカーがメジャーになり進歩したのだろう、今は滅多に見なくなつた。両チームの適切な対応で、大事に至らなかつたのはお互いにとって幸いであった。

再開してしばらくした後半19分、左サイドからの攻撃で千葉が走る。ボールを中に入れる。ゴール前でのせめぎ合いからボールがペナルティ・エリアの方へバウンドしていった。そこへ走り込んだのは佐々木(道)、バウンドの上り鼻をいきなり左足アウトサイドで強蹴した。聞いたことのないような音とともにボールはゴールヘロケットのように飛んで行った。「ガン！」という音とともにゴールネットが揺れていた。ポスト右中に当たったようだが、一瞬のことであった。相手GKは反射的にセービングしたが間に合わなかった。DFも見ているしかなかったようだ。ここで何試合かシュートがポストに当たってもゴールに嫌われてきた佐々木(道)だったが、このゴールでこれまでの鬱憤は雲散霧消したのではないだろうか。1-1。

これで追加点を取ってこちらに勝ちを呼び込みたい、と全員が想ったと思う。しかし、相手の方が上手であった。同点にした直後の後半20分、相手のエースがすかさず得点して突き放す。1-2。

これには精神的にも肉体的にも参った。普通の落ち込みの倍以上となったことは言うまでもない。相手の意気上がるのに対し、こちらは声も少なくなっていたような気がした。

後半29分、FKからのセットプレーで失点し1-3。これで勝負あった。しかし、その後も最後まで諦めずゴール前に迫るが得点には結びつかなかつた。

今日の守備陣は、いつものメンバーと少し違った。「攻撃」と異なり「守備」は新しいメンバーすぐに連携プレーを期待することは酷である。相手チームのように何年も一緒にやっている人達であれば可能かもしれないが、毎年メンバーが総入れ替えするような我がチーム事情では無理である。それでも何とか対処しようとすれば、GKやCBが後ろから事細かく指示したり、お互い声を出して意思疎通を図るなどの方法もあるだろうが、そうそうすぐに出来るものではない。今日は、試合巧者のチームにはどう対応すべきかを身をもって知る事が出来たと前向きに考え、次に生かしたい。【鈴木修平.記】

P.S 運営当番を手伝ってくれた先輩の小川譲次さん、選手の長浜慧昌君、佐々木道滉君、千葉陽太君、ありがとうございました。

運営当番中、後ろのベンチから第4試合の主審で待機していた愛子監督の声が聞こえてきた。「ウチはもう2位以上が射程圏内だ!」

■2022年10月23日(日曜日) 県リーグ第14節 中新田SC戦

試合開始10:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野C

【結果】 3-2で勝ち

【得点者】 坂井響【1点目】 菅野隼也【2点目】 佐々木道滉【3点目】

【アシスト】 佐々木道滉【1点目】 佐々木道滉【2点目】 なし(PK)【3点目】

【スタメン】

GK: 田村祥太郎①

DF: 廣瀬海音②、向川大成⑩、

鈴木涼平⑤、佐藤博亮(79)

MF：菅野隼也⑥、坂元智行⑨、

中村航太⑮

FW：長浜慧昌⑦、坂井響⑭、

佐々木道滉⑯

【控え】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝

【主審】なし

【副審】中山太喜(12:00～13:30)

【評】

今日は今シーズン18試合中の山場で「大一番」という認識で選手・ベンチ全員が一致していた。

相手は、ずっとリーグ戦で一位をキープしている「中新田サッカークラブ」だ。我が「東北クラブ」は第二位につけているが、ここ3試合失速して引き離されようになっていた。今日はまず「いい試合をする」ということで選手・ベンチの気持ちにブレはなかった。勝てば嬉しいが、品の無い勝ち方はチーム・カラーに合わない。セコイことをして勝つことは良しとしない。「いい試合をして」勝つことが「東北クラブ」のスピリットである。

先週の反省も含めて、試合前の練習には「ペナルティ・キック(PK)」の練習もするように監督の指示があった。

中新田SCとは過去何度も対戦している。いつもガチの勝負になる強豪である。チーム組織としては我々を遥かに凌ぐ伝統あるチームで、メンバーも多く、スキルも高く、ある意味羨ましく思ってきた。東北クラブの今の選手たちにとっては今季2度目の対戦だが、ベンチ・スタッフにとっては過去の歴戦が蘇り、厳しい試合になることは容易に想像できた。

天候は晴れ。暑くも無く、寒くも無く、陽の光は十分で、何とも言えない良い日和だった。

10:00キックオフ。

今日の会場「めぐみ野Cグランド」は普通、第一試合は9:00キック・オフである。どういう訳か今日は10:00だった。そのため、8:30を集合時刻としたが、いつもなら指定時刻にほぼ集合しているのに、今日は誰も来ていない。「？」集合時刻の案内を間違えたかとメールを確認したほどだった。その後、徐々に集まり最終的に11人となった。

開始早々、相手にチャンスが訪れる。一寸、ヒヤッとしたが事なきを得る。

相手も全員気力十分でプレーに力と精彩があった。最初から、パワー全開の試合となつた。

早いパスが何本もつながり、ゴールまで到達する。ミスがほとんどない。このチームがずっと一位をキープしているというのも頷ける。「2部でプレーしているチー



ムでは無い！」というのがベンチの一致した意見だった。

感心している場合ではない、と我に返る。しかし、我らが東北クラブも対等以上に戦っている。廣瀬と向川を真ん中に、両サイドを佐藤(博)と鈴木(涼)というのが今日のディフェンス陣である。相手のFWがボールを奪いに来るところを巧みにパスを回し、サイドをチェンジしながら、中盤で空きスペースを作る菅野、坂元、中村に縦パスを通す。そこから最前線の坂井、長浜、佐々木(道)に展開する。緻密で実に見応えのあるプレーが続いた。相手のプレーは激しいが正統派であり余計な心配はする必要がなかった。

均衡が破れたのは前半7分。この流れの中、ハーフライン辺りで佐々木(道)が坂井にパス。坂井はDFに囲まれながらも先ず頭でボールを前に落とす。落ちたところをマジックのようなボール・コントロール、次の瞬間DF2人は置き去りになっていた。目の前のGKと対峙した坂井は、反射的にゴール右隅下にボールを流し込んだ。トップ・スピードでのボール・コントロールはいつも思い通りになるとは限らないが、本能的に体が動いた時の坂井のボールは止められるものではない、1-0。

このチームに対して先制したことは大きい。しかし、この後相手は死に物狂いで攻撃に拍車をかけてくる。それが功を奏し前半9分、同点にする。1-1。

この後も息詰まる攻防が続く。両チームともコートをフルに使って、しかも全力疾走なので著しく体力を消耗するのが手に取るように分かった。早く追加点が欲しい！両チームともそう思っていたに違いない。

前半26分、追加点を取ったのは相手チームだった。ゴール前、向川が超ファイン・プレーでゴールを阻んだが相手のブッシュが勝った。1-2。

前半33分、坂井。

前半36分、佐々木(道)、中村。

前半終了間際、坂井。

チャンスはあったがゴールは奪えなかつた。

後半に入る。

相手も前半でかなり消耗したと思われ、運動量が少し落ちたような気がした。しかし、お互いパスは正確でほとんどミスが無い。「手に汗握る・・」という表現がぴったりの試合内容であった。

後半10分、中盤左での攻防から、中村がボールをキープ、前の佐々木(道)に鋭い縦パス、トップ・スピードで受けた佐々木(道)は前にドリブルする。DFが併走する。佐々木(道)はボールを止め、切り返す、と見せて前に、DFは付いていかなかった。中に切り込んだ佐々木(道)は速いグラウンダーのボールを中に入れた。佐々木(道)のボールは速い。走り込んだ坂元に合わせたかと思った。しかしコースが合わずダメか？とベンチにため息が漏れる。しかし、佐々木(道)の狙いは違ったようだ。それは菅野、ペナルティーエリア中央外でダイレクトで合わせたボールはGKが反応できない程のスピードでゴール右上隅に突き刺さった。この試合に相応しい素晴らしいゴールだった。2-2。

後半28分、相手の攻めでゴール前のシュートがバーを叩く場面があった。これが入っていたら、この後の結末は無かったであろう。

残り10分、ミスした方が負ける。そんな予感が脳裏をよぎる。緊迫した試合は続くが、GK田村、廣瀬、向川、鈴木(涼)、佐藤(博)のD/F陣は最後まで崩れなかつた。

時計はタイムアップ寸前。スコアは2-2。引き分けでも十分な試合内容だと思った。後は終了のホイッスルを待つ時間帯であった。

中村がドリブルで相手を翻弄し最後の突破を試みる。場所はペナルティー・エリア内、相手D/Fの足が出る。中村が倒れる。「ピーッ！」主審の笛が鳴る。

相手にとって「あってはならない事」だったろう。終了間際でタイムアップ寸前、スコアは2-2。相手は必死のアピールをする。しかし、PKの判定は覆らなかつた。

キッカーは佐々木(道)。試合前のPK練習が活きたかどうかわからないが、見事ゴール左隅下に決めた。3-2。

劇的な幕切れとなつた。そう言えば、ハーフタイムに吉田コーチが「今日は、中村が何かやつてくれそうな予感がする」と言つてゐたことを思い出した。

【鈴木修平.記】

P.S 副審を務めてくれた中山君、ありがとうございました。試合中は何とか持つた天気が、終了とともに雷・強雨になつたが大丈夫だったろうか？

■2022年10月30日(日曜日) 県リーグ第15節 AYASHI FC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野A

★東北クラブがコロナ感染者発生のため、試合は「延期」となりました。

☆主審・副審はありました。中山君、小川さんありがとうございました。

【主 審】 中山太喜(11:00~12:30)

【副 審】 小川修一(11:00~12:30)

■2022年11月6日(日曜日) 県リーグ第16節 登米SC戦

試合開始 10:00 (40分ハーフ) 場所:東和総合運動公園グランド

【結果】 3-1で勝ち

【得点者】 桂島大和【1点目】 佐々木道渙【2点目】 佐々木道渙【3点目】

【アシスト】 千葉陽太【1点目】 なし(PK) 【2点目】 菅野隼也【3点目】

【スタメン】 GK:田村祥太郎①

DF:向川大成⑩、鈴木涼平⑤、

長浜慧昌⑦

MF:菅野隼也⑥、坂元智行⑨、

千葉陽太⑮

FW:坂井響⑭、佐々木道渙⑯、

桂島大和⑪



【控え】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝

【主審】溝口睦望(12:00～13:30) (※1)

【副審】なし

【評】

8:00頃、快晴の三陸自動車道「石巻港IC」を通過していた。8:30集合なので予定通りだった。と、右の追い越し車線を真っ赤な車が軽快に追い抜いて行った。マツダのアクセラ、吉田コーチの車である。あつと言う間に視界から消えて見えなくなった。予定の大分前に着くのだろうと思った。

登米ICで降りて一般道の交差点に入ったら、赤の323が信号で停まっていた??・・この信号は待ち時間が長いのだろうか?

8:30過ぎに今日の会場、登米東和運動公園グランドに到着。見れば、周りは老若男女の人ばかり、町内上げてのテニス大会があるらしかった。

我々の試合は10:00キックオフ。対戦相手は登米SC。メンバーは11人の予定であったが、開幕から皆勤でオールラウンドプレーヤーの佐藤(博)君が来れないことが開始直前に判明。11月から転職と聞いていたが、「今日は来れるかも」と言っていたのだが、思うようにいかなかったのであろう。

10人で戦うことに気持ちを切り替える。

ここは相手チームにとってホームグランドと言っても良く、地の利は断然相手にあった。ボールは足についているし、連携プレーも冴えていた。そう言えば、このグランドではこれまで勝ったことが無いことを思い出した。

10:00キック・オフ。相手は、1人多いので最初からガツガツは来なかつた。パスを回し、両サイドにこちらのDFをおびき出して中で勝負!という意図を感じる。5分、10分と経過する。

しかし、先取点を取ったのはこちらだった。

前半13分、右からの攻撃の場面、MF千葉がFW桂島にパス。桂島は右ペナルティエリア角辺りから相手DFと競りながら、ゴールラインの手前で桂島の足が触った。ボールは詰めて来たGKの右をすり抜けゴールへ流れた。ベンチからは目の前に副審がいたことと、遠いので良く見えなかつたが、後でビデオを拡大再生してわかつた。その時は、一寸間を置き副審のフラッグが上がり「ゴール」とわかつた。桂島は豪快なロングシュートを決めると思えば、こういうミステリアスなシュートも決める。相手にとっては捉えどころのない、本当に嫌なプレーヤーであろう。

1-0。

1人少ない状況でこの1点は大きい。その後、10人対11人ということを忘れさせる時間が続いた。

前半32分、コーナーキックからボールがゴール前を横切る場面があつた。合わせられれば1点だったがそう上手くは行かない。

前半34分、坂井が右サイドで相手DFのチェックを受けながらゴール前まで迫

る。倒されたか？と思ったら転んだのは相手だった。坂井はこういうプレーには滅法強い。ベンチからも感嘆の声が上がる。狙いました坂井のボールがゴール前を横切る。「待ってました！」と坂元が合わせる。目前はGKだけ、誰もがゴールネットが揺れる光景を思い描いた・・しかし、ボールはゴールネットではなく、防護ネットを揺らしてしまった。鳥の海での見事なシュートを決めた坂元でも、このような場面では力んでしまったようだ。

今日のDF陣は鈴木(涼)、向川、長浜である。いつもの4バックに1人少ないところは、MF千葉がカバーしたり、メンバー全員の運動量で補っていたようだ。だから疲れは半端なかったであろうと思う。

長浜はいつも右ウイングだが、今日は左バックを担当した。守っては相手FWの右からの突破をほとんど無にしていたようだった。長浜は足は速いし同じFWとして相手の意図も読めたであろう。思うようなプレーをさせなかつた。攻めては、左足でのサイドチェンジのロングパスの正確さにベンチから賞賛の声が上がっていた。11/3の現役4年生との練習試合で左バックをやっていたが、このためだったのか(^_^;)と思つたりした。

後半に入る。

開始1分、左から坂元が相手DFを引きつけドリブルで上がる。何人かの相手に囲まれているように見えたが、それをものともせずに突破していく。ゴールライン手前で中に速いゴロのセンタリングを送った。ボールはゴール前を横切る・・しかし、誰もいなかつた。いれば1点であったろう。

その後もチャンスは続いた。

後半3分、佐々木(道)、桂島。

後半6分、佐々木(道)、菅野。

後半24分、坂井。

チャンスの後はピンチが来る。この直後、相手は左サイドからカウンター攻撃で左ウイングに絶妙の縦パスが出る。ベンチからはGKが出れば間に合う、と見えた。しかし、GK田村は一瞬躊躇したか、出遅れた。相手FWが紙一重で勝り1-1。(※2)

当然、相手の意気は上がり、攻勢に拍車がかかる。ここで追加点を取つて一気に勝ちをもぎ取りたいと思ったはずである。思うようにパスが回り、左から右からこちらのDFを崩しにくる。数的優位が功を奏するのは時間の問題かと思われた。

しかし、全員が踏ん張った。そして、局地戦で競り勝つて少しずつ劣勢を跳ね返していった。

11/3(木)に現役サッカーチーム4年生と練習試合をした。相手は現役だけあってスピードは速く、技術的にも巧い。連係プレーも素晴らしい。2-3で負けはしたが彼らと互角に渡り合えたことが、今日の試合に十分に活かされていたと思う。

後半29分、坂井、佐々木(道)でチャンスを作る。

後半36分、桂島が右を走りパスを受ける。ペナルティエリア角外で相手DFと1対1となる。当然、勝負だ。左右に体が動き、ボールもそれに伴つて動いた。相手

D Fはボールを見てはいたが、気がついたら抜かれていた、という感じだった。当然、後ろからボールを阻止すべく足が出る。桂島は倒れた。次の瞬間、予想された展開となる。「ピー」と主審の笛、ペナルティだった。相手D Fの足が深く入ったか桂島はしばらく蹲ったまま立てなかつた。

キッカーは佐々木(道)、ベンチも含めて皆緊張する中、ゴール右下に何事もなかつたように豪快に決める。2-1。

これでこちらのパワーが一気に全開となつた。

後半39分、ペナルティエリア右角手前でボールを受けた菅野は、ペナルティエリア・ラインの手前を線と平行にドリブルする。シュートのタイミングを虎視眈々と狙いながら、別の最良の場面を模索していたのではなかつたか。それを察知したかどうかは定かではないが、佐々木(道)が数m前を直交する。菅野はそれに合わせキラーパスを出した。コース、スピード共に完璧だった。相手D F陣は菅野に釘付けとなって佐々木(道)の動きを見逃した。佐々木(道)は相手G Kの動きを見て右から左へ態勢を変え、左足でゴール左隅に決めた。一瞬であり高いスキルを感じさせるプレーであった。3-1。

1人少ない状況であったが、D F陣、M F陣、FW陣の互いのカバーと各メンバーの集中力でいい試合をした。結果は「吉」となつた。【鈴木修平.記】

P.S (※1) 今日は第3試合の主審・副審が割り当たつていた。しかし、11/4(金)コロナで「延期」の連絡が来て無くなつた。その後、11/5(土)に県リーグの連絡網(LINE)で田尻FCさんから「第2試合の主審」の打診があり、溝口君が受けてくれた。田尻FCさんから「助かりました。」とお礼がありました。

(※2)次の試合(バンブルビー白石 vs 六郷クラブ)を観ていたら、全く同じ場面があった。白石のGKは判断が良く、ミスも殆どなかつた。それが、この場面でやはり一瞬躊躇して出遅れたため、相手FWが勝ってボールを取つた。ゴール裏から観ていたのでわかつたのだが、逆光でボールと相手FWとの遠近感が消失し、距離がわからなくなるような感覚があつた。

■2022年11月20日(日曜日) 県リーグ第17節 ラソススポーツクルービFC戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:みやぎ補助競技場

【結果】 4-2で勝ち

【得点者】 桂島大和【1点目】

佐々木道渉【2点目】

坂井響【3点目】

坂井響【4点目】

【アシスト】 なし【1点目】

坂井響【2点目】

中村航太【3点目】

千葉陽太【4点目】



【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：坂井響⑭、廣瀬海音②、向川大成⑩、佐々木道滉⑯

MF：千葉陽太③、菅野隼也⑥、中村航太⑮

FW：桂島大和⑭

【控　え】なし

【警　告】田村祥太郎（遅延行為）

【ベンチ】吉田和朝

【主　審】なし

【副　審】中山太喜(13:00～14:30)

【評】

残すところ3試合、いよいよ最終盤に入った。前回8月の対戦時、相手が10人だったこともあり4-1と快勝していた。ところが、今回は当方が9名しか集まらず、さすがに苦戦が予想された。

前半は、数的不利の原則通り守備から入ることにする。4-3-1のフォーメーションで臨んでカウンターを狙うといったところ。

開始早々の3分、これが見事にはまる。ビルドアップ中の相手DFのパスミスを見逃さなかったワントップ桂島が、インターセプトするや否やGKの立ち位置を確認すると、30mの距離を見事なロングシュートで先制に成功する。これで2試合連続で貴重な追加点。得点源に成長しているのは疑う余地がない。

相手は数的優位をうまく利用できなかったが、前半半ばから前線の選手を増やし、DFラインとの駆け引きから何度も好機を作り出すようになった。

前半終盤に差し掛かると、さすがに2人少ない状況では疲れも出てくる。終了間際の37分、右からクロスを入れられ、打点の高いヘッドで失点する（といっても、ベンチはこのシーンを見逃していた(-_-;)。）

ハーフタイム。何人かが倒れこむように休憩を取る。「さすがにキツイ」と思わずこぼしてしまう。キャプテン役の菅野がフォーメーション変更を提案する。4-2-2の変則でツートップとし、守備ラインを保ちながらスペースを使って得点機を探すこと。「このままやってても引き分けがいいとこ」、「点を取りに行こう」とメンバーも賛同し後半に臨む。

（実はこの時、ベンチは「博打だなあ」と思ってました(^_^;)。）

後半開始早々の44分、またしても桂島が抜け出してGKと1対1に。ところが、相手のアピールにより、なんと2つ前のプレーのファウルを取られて戻される不可思議な判定。もっとも、桂島のシュートはGKにセーブされたので、「まあ、しょうがないか」と納得(笑)。

50分、GK田村からの好フィード（本人はミスキックだと言っていたが）から坂井が抜け出し、並走する佐々木へ落ち着いてラストパス。佐々木は見事にゴール左隅に勝ち越し点を決める。

63分、自陣ゴール前から右サイドへ大きく蹴りだされたキックに千葉が見事なコントロールでマイボールとし、中村へ。中村は自陣から巧妙なドリブルを見せた後、

坂井へ絶妙なパス。坂井も冷静にかつパワフルなフィニッシュで右隅に勝負ありの3点目。

続く65分、気落ちした相手に、またしても千葉からスルーパスが出る。反応した坂井が一気にゴールに迫りダメ押しの4点目。

こんな流れになるとはベンチもまったく予想だにせず。

今日は、選手たちが真摯に取り組んだ結果だと思います。「おれたちこんなに我慢する試合もできるんだなあ・・・」と、終了後に選手たちがしみじみと語っていたのが印象的でした。

まあ、最後に疲れからかカウンターをくらって失点したのはもはやご愛嬌。

結果として、前半サイドバックをやっていた坂井を上げて桂島とのツートップにしたのが大当たりだったと言えよう。全員献身的な守備をしてくれて、そういう意味では収穫大でした。ある意味今シーズンのベストゲームだったかもです。

残り2試合、2部とはいえ優勝のチャンス。ものにしたいです。

【吉田和朝・記】

■2022年11月27日(日曜日) 県リーグ第18節田尻FC戦

不戦勝

■2023年1月22日(日曜日) 県リーグ第15節 AYASHI FC戦

試合開始 10:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野C

【結果】4-1で勝ち

【得点者】坂井響【1点目】坂井響【2点目】佐々木道晃【3点目】佐々木道晃【4点目】

【アシスト】坂元智行【1点目】長浜慧昌【2点目】坂元智行【3点目】坂井響【4点目】

【スタメン】GK:田村祥太郎①

DF:吉田竜也②、田邊悠太⑦、古賀広見④

MF:向川大成⑩、鈴木涼平⑤、坂元智行⑨、中村航太⑮

FW:長浜慧昌⑦、坂井響⑭、佐々木道晃⑯

【控え】千葉陽太⑬

【交代】古賀広見④→千葉陽太⑬(後半5分)

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、小川修一

【運営当番】吉田和朝、佐々木元樹、

船橋富寿(9:00--13:30)

【主審】なし

【副審】小川修一(12:00--13:30)

【評】

真冬にサッカー、昔は何でも無かったような気がするが、今は完全防備でないと持たない。正月は比較的暖かったが最近は例年通りの冬の寒さに戻っている。

今日は、10月30日コロナ感染により延期となった試合の代替試合である。相手は、AYA



SHI-FC。場所は、めぐみ野Cだ。

天気は晴れ、太陽が出ていると暖かいが、陰ると防寒着を着ていても寒い。幸運にも午前中はおおむね良い天気だった。

今日は、運営当番も割り当たっており、試合と運営当番は別れて対応しなければならなかつた。そのため、佐々木元樹さんと船橋富寿さんに応援をお願いした。

今日の試合、こちらが棄権しない限り勝っても負けても「優勝」となる。しかし、年が明け試合日が近づくにつれ人数が集まるか心配で、田村君の力を借りて来年度M1予定の2人を急遽JFA登録申請した。いつもならすぐに承認されるのだが4日もかかる気を揉んだが、間に合つた。最終的には12人が集まり第1目標はクリアできた。

今日はもう一つ目標があった。得点ランキングで現在2位の佐々木道晃君に何とかしてタイトルを獲らせたいということだ。1位とは2点差である。1位のバンブルビー白石・草刈氏と2位のラソス・高橋氏は、今日次の試合があり得点するとどうなるか微妙であったが、兎に角、できるだけ得点するということに尽きた。メンバーも黙ってはいるが想いは同じだったろう。

10:00、キックオフ。

相手は、今日は10人だった。1人少ないことは圧倒的に有利と感じるが、そうではないことを我々「トンペイクラブ」が証明している。相手チームだってそう思っているはずである。「今日はセンタリングは要らない」と指示していたので体力を消耗する外からの攻撃は少ないと見た。

3分、坂元。

4分、佐々木(道)。

7分、坂井。

今年の最終戦に相応しく連係プレーが冴える。1人少なければ外からの攻撃はかなり有利になる。こちらの攻めはスピードもあり、それに追随しなければならない相手チームはそれなりの対応を迫られることにならう。

14分、ゴール前の相手DFの裏に落ちるローリングにく・>が合わせたがボールはバーを超える。

17分、坂元からの絶妙のパスを坂井がスピードとテクニックで相手DFを切り裂く。

1-0。

これで攻勢に拍車がかかる。

19分、左から快速を飛ばす佐々木(道)に、坂井から3人の相手DFを一瞬で置き去りにするキラー・パスが出る。俊足佐々木(道)にとって、最も得意とする場面だった。ボールは狙い違わずGKの脇を抜いてゴールへ…「やったー！」と思った瞬間「ピー！」と主審の笛。オフサイドを取られた。「？！」と思ったが、退場になる訳には行かない。我慢した。

25分、坂井が真ん中でボールをコントロールし、右へ展開しチャンスとなつたが、相手DFは必死で凌いだ。

29分、相手の攻撃で左から中へ入れたボールは正確に相手FWに。胸でワン・トラップしシュート。GK田村はタイミング合わず取れなかつた。1-1。

37分、鈴木(涼)が右からゴール前にロビング・ボールを入れた。そこへ走り込んできた<・>、バウンドか少し合わなかつた。決まれば大喝采！という場面だった。

38分、中盤で古賀からボールをもらった吉田は、一瞬坂井と目が合つた(?)か縦パス、それをダイレクトで流す。予期して走っていた<・>に。<・>は中にセンタリング、佐々木(道)が待つてゐる。左足で合わせる。セービングしてくるG Kの間を抜け「ゴール！」と皆思つた。「カーン」という乾いた音がしてゴールにならなかつたことを知る。(‘；～；’)

後半に入る。

後半7分、長浜のパスが坂井へ。D Fが迫る中、持ち前のスピードとボール・コントロールでG Kと対峙する。相手G Kより一瞬早くボールをプッシュ。ボールはゴールへ転がつて行つた。2-1。

後半11分、このグラウンドは佐々木(道)には狭いのではないか、そんな思いがよぎつてゐる時、名手坂元から絶妙のラストパスが出る。左に流れたボールをワン・トラップして左足でシュート！ G Kが抜群の運動神経を持っていることは何度も見て知つてゐる。そのG Kはボールに触つたが、強烈なシュートはカーブしてゴールネット右に突き刺さる。誰もがこういうシュートを決めてみたい、そういうシュートだつた。3-1。

チャンスはあるがそう簡単に得点にはならない。佐々木(道)は2点以上決めないと得点王争いに加われない。時間はタイムアップが近い。その時、希望をつなぐ場面が‥‥

後半41分、坂井が中盤の相手陣内でD Fを背後にボールをキープ。佐々木(道)が右を走る。相手D Fの動きを全神絶で感じながらボールを右へ流す。佐々木(道)が意図を読み、これまで何度も決めたパターンが再現される。左足で蹴られたボールは相手G Kの手を超えてゴール左上隅のネットを揺らす。4-1。

これまで最終戦は、最後の試合になるM 2のために勝敗に関係ない限り便宜を図つてきたが、今回は勝敗には関係なかったものの、「得点王」が関係してゐた。これに皆が協力して一丸になつた感があつた。ともすれば緊張感が少なくなる最終戦がこれほど白熱し、楽しかつた試合は珍しい。改めて今年のメンバーに拍手喝采を送りたい。【鈴木修平.記】

P.S

思えば、今年は開幕当初、試合ができるない人数ならば活動を「休止」せざるを得ないと思つてゐた。それが、M 1の加入で継続でき、おまけに連戦連勝で最終的に「県リーグ2部優勝」となつてしまつた。人生、何があるかわからない！というのが実感です。ただ、今後次を解決しないと1~3年後「活動休止」に追い込まれかねません。皆さんの知恵と協力に期待したい。

(1)M1の加入。(送別者以上の加入は欲しいところです)

(2)G Kがいること。(経験者でないと県リーグ1部は難しいと思います)

(3)副審(4級審判以上)が2名以上いること。・・県リーグ1部

-これまでスタッフがやってきましたが、×秋保さん(年齢)、×残間さん(仕事)、×小川さん(転勤)、△吉田さん

(4)主審(3級審判以上)が3名以上いること。・・県リーグ2部

-△吉田さん(年齢)、×小川さん(転勤)、佐久間君

今年度の得点王争いは、佐々木道滉君が最終戦の2得点も及ばず、1点差で2位となり1位を逃した。残念であった。

その後、「得点」ランキングと「アシスト」ランキングを集計していく、「？」と閃き、得点とアシストを合計してみた結果が下の「総合ランキング」である。

このようなランキングは人口に膾炙していないが、あってもいいのではないかと思って掲載してみた。

ディフェンダーの活躍を表す指標がないのはなぜだろうか？

それはさておき、改めて、今年のメンバーの活躍に敬意を表したい。

総合ランキング

順位	氏名(チーム名)	得点	アシスト	合計
1	佐々木道滉(東北)	15	5	20
2	高橋峻亮(ラソス)	15	4	19
3	草刈大地(白石)	16	1	17
3	坂井慶(東北)	11	6	17
5	高橋裕司(ラソス)	9	7	16
6	長谷川紘己(愛子)	6	5	11
7	安齋峰美(中新田)	9	1	10
8	中原大貴(中新田)	9	0	9
8	村田純平(ソニー)	6	3	9
8	澤口景(ソニー)	6	3	9
8	石橋理志(ソニー)	3	6	9
12	小林友綱(ソニー)	6	2	8
12	森田湧士(登米)	4	4	8
12	平良木元(櫻木)	4	4	8
12	嶺岸祐介(白石)	4	4	8
12	中村航太(東北)	3	5	8
12	佐々和彦(白石)	2	6	8

得点ランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	草刈大地(白石)	16
2	高橋峻亮(ラソス)	15
2	佐々木道滉(東北)	15
4	坂井響(東北)	11
5	安齋峰美(中新田)	9
5	高橋裕司(ラソス)	9
5	中原大貴(中新田)	9
8	橋本尚樹(ソニー)	6
8	佐藤勝太(愛子)	6
8	長谷川紘己(愛子)	6
8	桂島大和(東北)	6
8	村田純平(ソニー)	6
8	澤口泉(ソニー)	6
8	小林友綱(ソニー)	6
15	大隅弦(楓木)	5
15	菅野隼也(東北)	5
15	古田翔哉(ラソス)	5
18	森田湧士(登米)	4
18	平良木元(楓木)	4
18	福山和佳(ラソス)	4
18	嶺岸祐介(白石)	4
18	佐藤勇翔(登米)	4
18	大沼将也(中新田)	4
18	小暮紘史(愛子)	4
18	吉田悠真(六郷)	4
18	岡村岳(楓木)	4
18	菅野紘太郎(楓木)	4
18	中達修斗(愛子)	4
29	石橋理志(ソニー)	3
29	中村航太(東北)	3
29	菅原義豪(六郷)	3
29	竹林和輝(楓木)	3
29	田村勇太(中新田)	3
29	石崎正樹(田尻)	3
29	鈴木聖也(白石)	3
29	亀井光輝(愛子)	3
29	小野寺柊也(楓木)	3
29	西山剛人(六郷)	3
29	三富皓介(東北)	3
29	跡部寛明(愛子)	3
41	及川竜二(田尻)	2
41	佐々木天大(登米)	2
41	相澤誠(六郷)	2
41	真鍋虎太郎(中新田)	2
41	菅原皓太(登米)	2
41	天野由大(田尻)	2
41	佐々和彌(白石)	2
41	木村文大(田尻)	2
41	長瀬泰明(登米)	2
41	日下裕太(楓木)	2
41	及川凌二(田尻)	2
41	佐藤大来(六郷)	2
41	長浜慧昌(東北)	2
41	菅野凜太(中新田)	2
41	坂元智行(東北)	2

アシストランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	高橋裕司(ラソス)	7
2	石橋理志(ソニー)	6
2	坂井響(東北)	6
2	佐々和彌(白石)	6
5	長谷川紘己(愛子)	5
5	佐々木道滉(東北)	5
5	中村航太(東北)	5
5	日下裕太(楓木)	5
9	坂元智行(東北)	4
9	平良木元(楓木)	4
9	高橋峻亮(ラソス)	4
9	嶺岸祐介(白石)	4
9	長浜慧昌(東北)	4
9	鹿野裕樹(六郷)	4
9	森田湧士(登米)	4
9	鈴木聖也(白石)	4
17	村田純平(ソニー)	3
17	菅原拓真(愛子)	3
17	千葉陽太(東北)	3
17	渋谷隼(愛子)	3
17	澤口泉(ソニー)	3
17	小暮紘史(愛子)	3
23	大村康太(登米)	2
23	菅野紘太郎(楓木)	2
23	菅野隼也(東北)	2
23	針生大作(六郷)	2
23	岡村岳(楓木)	2
23	菅野凜太(中新田)	2
23	鈴木達也(中新田)	2
23	小林友綱(ソニー)	2
23	中達修斗(愛子)	2
23	相澤誠(六郷)	2
23	鈴木幹也(登米)	2
23	高橋貴也(白石)	2
23	及川竜二(田尻)	2
23	跡部寛明(愛子)	2
23	高野和隆(ソニー)	2
23	佐藤恭哉(六郷)	2
39	安齋峰美(中新田)	1
39	浜口尚樹(田尻)	1
39	吉川巧(白石)	1
39	廣瀬海音(東北)	1
39	嶺岸豊(ラソス)	1
39	菊地隆之(六郷)	1
39	高瀬史則(ソニー)	1
39	三浦隆之(愛子)	1
39	草刈大地(白石)	1
39	村山良太(楓木)	1
39	佐藤勝太(愛子)	1
39	鎌田健太(田尻)	1
39	西山剛人(六郷)	1
39	庄子悠一(六郷)	1
39	鹿又亮(愛子)	1
39	内海諒(ラソス)	1
39	三浦純季(田尻)	1

2022年メンバー一覧



東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
1	2011-06-12	南小泉けん	0-0 引分け	宮城広瀬G
2	2011-06-19	一高済美	1-1 引分け	中田中央G
3	2011-07-10	仙台FC	2-1 勝ち	中田中央G
4	2011-08-21	ACシカバツ	0-0 引分け	宮城広瀬G
5	2011-09-18	FCロッソ	1-2 負け	宮城広瀬G
6	2011-10-02	OCT愛子	0-2 負け	県立サッカーフィールド
1	2012-04-01	南小泉けん	1-3 負け	宮城広瀬G
2	2012-04-15	桑原FC	1-1 PK負	(社会人)県B
3	2012-05-13	東北大医学部	x流れ	(天皇杯)七ヶ浜G
4	2012-05-20	仙台FC	0-1 負け	(仙台リーグ)広瀬G
5	2012-05-27	東北大医学部	0-6 負け	(天皇杯)陶芸の里
6	2012-06-10	ACシカバツ	2-2 引分け	(仙台リーグ)中田公園G
7	2012-06-24	FCロッソ	4-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央公園G
8	2012-07-01	SC75	0-1 負け	(社会人)七ヶ浜選手権)県G
9	2012-07-08	OCT愛子	1-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
10	2012-07-15	宮工けん	2-3 負け	(仙台リーグ)利府県C
11	2012-08-12	SC75	5-0 勝ち	(仙台リーグ)
12	2012-09-02	一高済美	1-1 引分け	(仙台リーグ)色麻町愛宕山G
13	2012-09-23	FCジョビ	2-1 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
1	2013-04-07	仙台FC	1-1 引分け	(仙台リーグ)広瀬G 大雨・強風・
2	2013-04-14	OCT愛子	2-0 勝ち	(全国)七ヶ浜選手権)松島G
3	2013-04-29	東北工大	4-1 勝ち	(天皇杯)泉東G
4	2013-05-05	七郷クラブ	2-2 PK6-5	(天皇杯)泉G
5	2013-05-19	宮城教員けん	1-3 負け	(社会人)仙台大G
6	2013-06-15	刈川松島	0-4 負け	(天皇杯)松島FC
7	2013-06-16	クラバタツ	6-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
8	2013-06-23	ケンジアレジ	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
9	2013-07-07	多賀城FC	3-0 勝ち	(全国)七ヶ浜選手権)
10	2013-07-14	DUO PARK	1-2 負け	(全国)七ヶ浜選手権)白石川IG
11	2013-08-04	ACシカバツ	0-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
12	2013-08-18	OCT愛子	4-2 勝ち	(仙台リーグ)県G
13	2013-09-08	仙台向山FC	6-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央G
14	2013-09-29	宮工けん	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
15	2013-10-13	広瀬FC	5-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
16	2013-10-20	FCロッソ	2-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
17	2013-11-17	田尻FC	3-3 引分け	(昇格選考)利府県C
18	2013-11-24	BOA SORTEさくら	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県C
19	2013-11-30	BOA SORTEさくら	1-0 勝ち	(昇格選考)利府県A
20	2013-12-01	IHAFC	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県A
1	2014-04-06	七郷クラブ	2-1 勝ち	(社会人)愛宕山公園G

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
2	2014-04-13	FC SENDAI	0-6 負け	(天皇杯)利府県C
3	2014-04-20	一高済美	5-1 勝ち	(県リーグ)
4	2014-05-11	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)
5	2014-05-18	TOHOKU FC	2-2 PK.4-2	(社会人)
6	2014-05-25	登米SC	2-0 勝ち	(けん)チム
7	2014-06-08	仙台sasuke FC	2-3 負け	(社会人)
8	2014-06-22	七郷クラブ	2-0 勝ち	(県リーグ)
9	2014-07-13	FCイズミ	3-2 勝ち	(県リーグ)
10	2014-07-20	中新田FC	1-2 負け	(けん)チム
11	2014-08-17	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)
12	2014-08-24	アトモ-レ桑原	2-3 負け	(県リーグ)
13	2014-08-31	一高済美	3-4 負け	(県リーグ)
14	2014-09-07	七郷クラブ	3-5 負け	(県リーグ)
15	2014-10-19	FCイズミ	8-1 勝ち	(県リーグ)
16	2014-11-02	アトモ-レ桑原	2-0 勝ち	(県リーグ)
17	2014-12-21	KEMONOin楢木	0-2 負け	(入替戦)
1	2015-04-12	多賀城FC	3-0 勝ち	(県リーグ)
2	2015-04-19	塙釜NTSC	5-0 勝ち	(社会人)愛宕山公園G
3	2015-05-03	中新田SC	1-1 PK4-3	(天皇杯)松島フルボルヒタ-
4	2015-05-24	仙台大学FC	1-2 負け	(社会人)県A
5	2015-05-31	BOA SORTEさくら	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
6	2015-07-26	一高済美	1-2 負け	(県リーグ)アテナ
7	2015-08-09	一高済美	4-1 勝ち	(けん)チム県B
8	2015-08-16	リニーサッカーラボ	0-3 負け	(けん)チム県B
9	2015-08-23	六郷けん	3-1 勝ち	(県リーグ)松島総合G
10	2015-09-06	桑原FC	3-0 勝ち	(県リーグ)アテナ
11	2015-09-27	BOA SORTEさくら	3-3 引分け	(県リーグ)松島フルボルヒタ-
12	2015-10-18	一高済美	4-1 勝ち	(県リーグ)県C
13	2015-11-01	桑原FC	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2015-11-08	六郷けん	1-2 負け	(県リーグ)県C
15	2015-11-15	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)アテナ
16	2015-12-21	東六ヶ原アスレジア	0-3 負け	(県リーグ)入替戦
1	2016-04-10	FC SENDAI	2-3 負け	(県リーグ)県C
2	2016-04-17	南小泉けん	4-0 勝ち	(社会人)県A
3	2016-04-29	広瀬高専	9-1 勝ち	(天皇杯)アテナ
4	2016-05-22	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)アテナ
5	2016-05-29	東北大学生会	0-6 負け	(天皇杯)松島フルボルヒタ-
6	2016-06-05	東六ヶ原アスレジア	1-4 負け	(けん)チム県C
7	2016-06-12	刈川松島	1-1 負け	(社会人)県C
8	2016-07-10	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アテナ

東北クラブ戦績一覧(2011.6~)

2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
9	2016-07-17	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FB
10	2016-07-24	一高済美	3-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
11	2016-08-14	田尻FC	4-1 勝ち	(県リーグ)県B
12	2016-08-21	一高済美	5-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
13	2016-08-28	七郷クラブ	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2016-09-11	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アマ・イド・XG
15	2016-09-18	田尻FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島FB
16	2016-10-02	多賀城FC	5-2 勝ち	(県リーグ)県C
17	2016-11-06	FC SENDAI	1-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2017-04-16	塙釜NTSCアマ・イド	0-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2017-04-23	一高済美	0-0 PK6-5	(カワチム)松島アットホーム
3	2017-04-30	登米SC	6-2 勝ち	(社会人)陶芸の里
4	2017-05-07	FC SENDAI	0-3 負け	(社会人)陶芸の里
5	2017-05-14	多賀城FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島アットホーム
6	2017-05-21	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
7	2017-05-28	ハシノアットホーム-白石	3-2 勝ち	(県リーグ)松島アットホーム
8	2017-06-25	南小泉FC	1-1 引分け	(県リーグ)松島アットホーム
9	2017-07-09	東北福社大	0-4 負け	(天皇杯)松島アットホーム
10	2017-07-16	リーサッカーカワチ	0-1 負け	(カワチム)松島アットホーム
11	2017-08-13	ハシノアットホーム-白石	0-1 負け	(県リーグ)県C
12	2017-09-10	南小泉FC	4-3 勝ち	(県リーグ)松島運動公園
13	2017-09-17	KEMONOin楳木	2-0 勝ち	(県リーグ)県C
14	2017-09-24	KEMONOin楳木	2-1 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
15	2017-10-01	七郷クラブ	0-1 負け	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴルフ
16	2017-11-12	多賀城FC	0-1 負け	(県リーグ)松島運動公園
17	2017-11-19	塙釜NTSCアマ・イド	0-5 負け	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
1	2018-04-08	七郷カワチ	3-1 勝ち	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2018-04-15	FC SENDAI2	0-1 負け	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
3	2018-04-22	田尻FC	6-0 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
4	2018-04-29	リコーカストリート東北	0-2 負け	(社会人)めぐみ野C
5	2018-05-06	カワチアレジ	11-0 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
6	2018-05-20	刈川松島SC	2-2 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
7	2018-06-17	仙台大原学園	7-3 勝ち	(天皇杯)めぐみ野C
8	2018-07-15	六郷カワチ	1-2 負け	(カワチム)めぐみ野C
9	2018-07-22	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
10	2018-09-02	南小泉FC	2-3 負け	(県リーグ)松島FBC2
11	2018-09-16	七郷カワチ	2-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
12	2018-09-23	刈川松島SC	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
13	2018-09-30	FC SENDAI2	1-1 引分け	(県リーグ)松島FBC2
14	2018-10-14	田尻FC	0-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C

東北クラブ戦績一覧(2011.6~)

2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
15	2018-11-04	南小泉カワチ	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
16	2018-11-25	FC SENDAI univ.	0-11 負け	(天皇杯)ひとめぼれ補助
17	2018-12-02	KEMONOin楳木	0-0 引分け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2019-04-07	刈川松島SC	0-4 負け	(県リーグ)松島運動公園
2	2019-04-14	宮工カワチ	0-5 負け	(県リーグ)松島FBC1
3	2019-04-21	FC Sendai Wolfe	0-7 負け	(社会人)登米東和運動公園
4	2019-04-28	六郷カワチ	1-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
5	2019-05-05	塙釜FCアマ・イド	1-1 引分け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
6	2019-05-12	BOA SORTEさくら	4-1 勝ち	(カワチム)松島運動公園
7	2019-06-09	東六ヶ浦アリーナ	0-4 負け	(カワチム)アリーナ角田G
8	2019-07-14	KEMONOin楳木	6-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
9	2019-07-28	愛子.FC	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野A
10	2019-08-18	田尻FC	3-2 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
11	2019-09-01	刈川松島SC	1-0 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
12	2019-09-15	塙釜FCアマ・イド	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
13	2019-09-22	宮工カワチ	0-0 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
14	2019-09-29	KEMONOin楳木	4-3 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
15	2019-10-06	六郷カワチ	1-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
16	2019-10-20	愛子.FC	5-3 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
17	2019-11-10	田尻FC	2-2 引分け	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴルフ
1	2020-07-12	田尻FC	2-3 負け	(カワチム)アマ・イド・ス・ホーク
2	2020-08-23	登米SC	2-3 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
3	2020-09-06	田尻FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FBC1
4	2020-09-20	SC 7 5	1-6 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
5	2020-10-04	刈川松島SC	0-1 負け	(県リーグ)松島FBC1
6	2020-10-25	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
7	2020-11-08	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
8	2020-11-22	六郷カワチ	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
1	2021-05-23	一高済美	5-0 勝ち	(社会人)松島FBC2
2	2021-05-30	白石クラブ	1-0 勝ち	(社会人)女川第2
3	2021-06-20	ARDORE桑原	0-2 負け	(社会人)色麻町愛宕山サッカーゴルフ
4	2021-06-27	南小泉カワチ	3-0 勝ち	(カワチム)めぐみ野C
5	2021-07-04	SC75	1-3 負け	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
6	2021-07-18	刈川松島SC	0-2 負け	(カワチム)松島FBC2
7	2021-10-03	中新田SC	3-1 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
8	2021-10-10	Sendai Universitat	0-3 負け	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク
9	2021-10-17	六郷カワチ	4-0 勝ち	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴルフ
10	2021-10-31	田尻FC	2-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
11	2021-11-14	KEMONOin楳木	不戦勝	
12	2021-11-28	登米SC	4-1 勝ち	(県リーグ)アマ・イド・ス・ホーク

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2023-01-27 16:51

No	年月日	相手	結果	場所
1	2022-04-10	六郷FC	5-1 勝ち	(県リーグ)アスダス・スズ・サバード
2	2022-05-08	ヨーリカーボン	1-0 勝ち	(県リーグ)松島運動公園
3	2022-05-15	登米SC	5-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
4	2022-05-22	KEMONOin榎木	2-1 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
5	2022-06-19	ハントヒート白石	1-0 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
6	2022-06-26	六郷FC	7-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野A
7	2022-07-03	田尻FC	4-1 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
8	2022-07-10	ヨーリカーボン	4-0 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
9	2022-08-07	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
10	2022-08-28	ハントヒート白石	4-1 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
11	2022-09-18	ハントヒート白石	2-2 引分け	(県リーグ)鳥の海運動公園
12	2022-10-02	AYASHI.FC	3-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
13	2022-10-16	KEMONOin榎木	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
14	2022-10-23	中新田SC	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
15	2022-10-30	AYASHI.FC	延期	
16	2022-11-06	登米SC	3-1 勝ち	(県リーグ)登米東和運動公園
17	2022-11-20	ハントヒート白石	4-2 勝ち	(県リーグ)ひとめぼれ補助
18	2022-11-27	田尻FC	不戦勝	
19	2023-01-22	AYASHI.FC	4-1 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C

2023年2月2日 初版発行

製作者 鈴木修平
 発行所 東北(トンペイ)クラブ
 〒981-0944
 仙台市青葉区子平町11-12
 電 話 022-273-5114

2022年ワールドカップ

グループE

チーム

		試合	勝	分	負	得点	失点	差	Pts	最近の5試合
1	日本	3	2	0	1	4	3	1	6	✓ ✗ ✓ ○ ○
2	スペイン	3	1	1	1	9	3	6	4	✗ - ✓ ○ ○
3	ドイツ	3	1	1	1	6	5	1	4	✓ - ✗ ○ ○
4	コスタリカ	3	1	0	2	3	11	-8	3	✗ ✓ ✗ ○ ○

グループE

ドイツ

終了
11/23

日本

2
1



▶ 2:11

グループE

スペイン

終了
11/24

コスタリカ

0



▶ 1:42

グループE

日本

終了
11/27

コスタリカ

1
0



▶ 1:40

グループE

日本

終了
12/2

スペイン

1



▶ 3:00

ラウンド16

日本

1 (1)
1 (3)

終了(P)
12/6

クロアチア

◀ 2:00



決勝

アルゼンチン

3 (4)
3 (2)



▶ 3:27

フランス

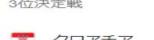
12/19

3位決定戦

クロアチア

2
1

終了
12/18



▶ 3:56

準決勝

フランス

2
0

終了
12/15



▶ 2:00

モロッコ

準決勝

アルゼンチン

3
0

終了
12/14



▶ 2:00

準々決勝

イングランド

1
2

終了
12/11



▶ 2:37

フランス

準々決勝

モロッコ

1
0

終了
12/11



▶ 2:11